

2.2. 子どもの生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況

2.2.1. 学習の状況

(1) ふだんの勉強の仕方（中学生票 問2、MA）

ふだん学校の授業以外でどのように勉強をしているかについては、「自分で勉強する」が84.0%、「塾で勉強する」が29.9%、「友達と勉強する」が24.2%、「家の人に教えてもらう」が23.1%となっている。「その他」は、「インターネット等で自分で調べる」、「タブレット教材」等であった。なお、「学校の授業以外で勉強はしない」は5.1%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「塾で勉強する」が15.5%、「家の人に教えてもらう」が21.1%で、「中央値以上」の世帯と比べて、それぞれ23.3ポイント、6.3ポイント低くなっている。一方で、「学校の授業以外では勉強はしない」が7.5%で、「中央値以上」の世帯（2.8%）と比べて、4.7ポイント高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」の場合には、「塾で勉強する」が23.2%、「家の人に教えてもらう」が20.0%で、「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。一方で、「学校の授業以外で勉強しない」は8.0%で「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「自分で勉強する」が76.7%と今回調査（84.0%）が7.3ポイント高くなっている。

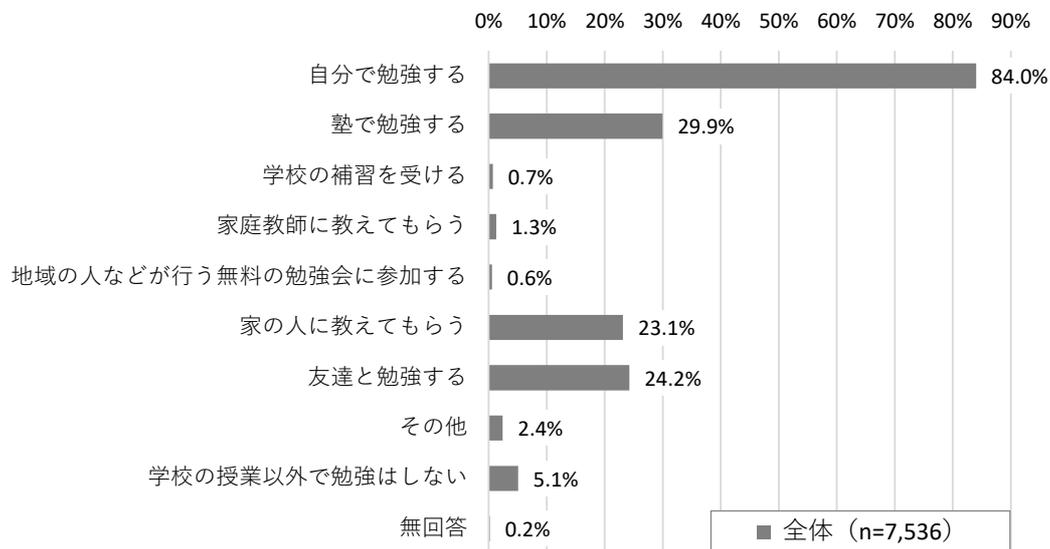


図 2-2-1-1 ふだんの勉強の仕方

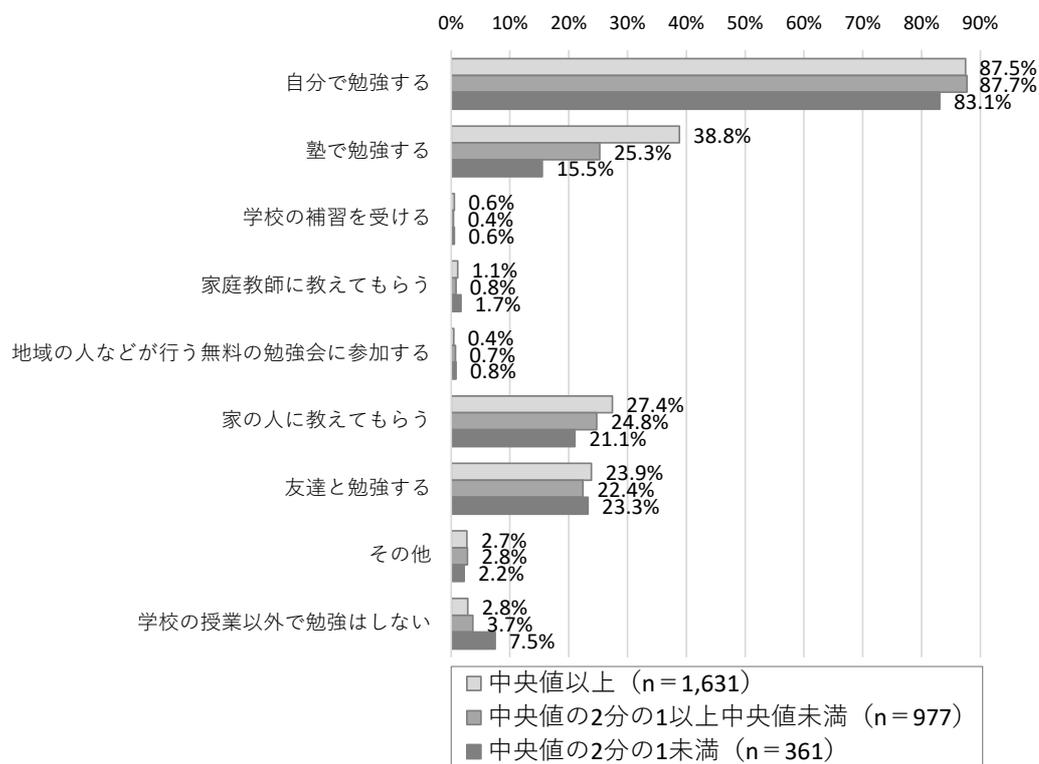


図 2-2-1-2 等価世帯収入の水準別、ふだんの勉強の仕方

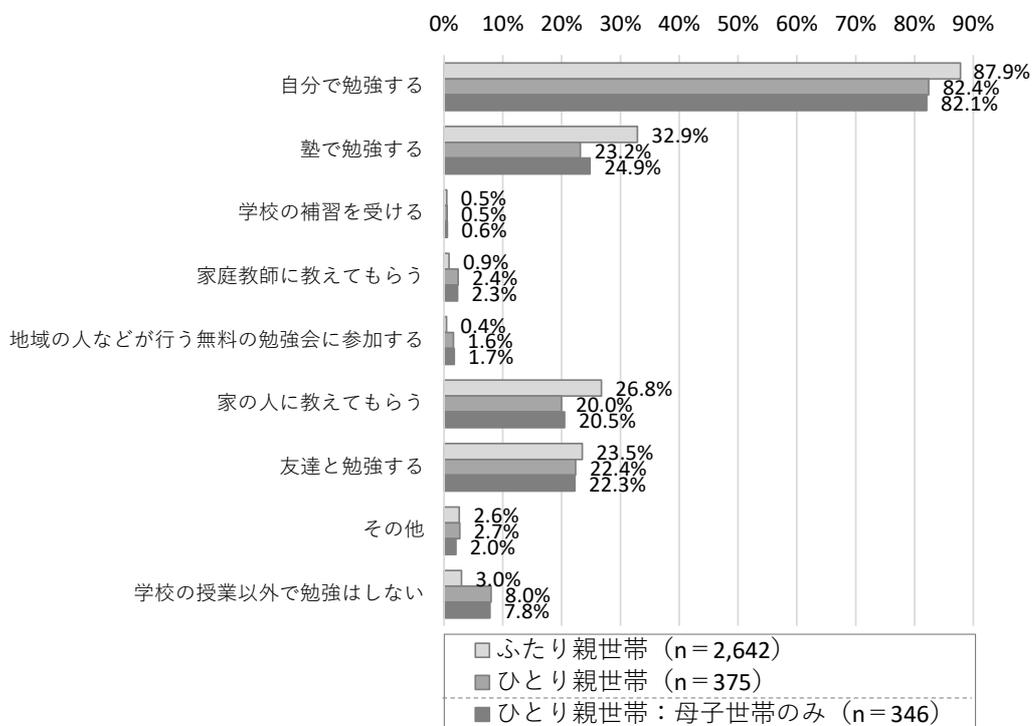


図 2-2-1-3 世帯の状況別、ふだんの勉強の仕方

比較表 2-2-1-1 ふだんの勉強の仕方²⁶

			サンプル数	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	無料地域の勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
上段：度数													
下段：%													
今回調査	全体		7,536	6,331	2,256	54	97	42	1,744	1,825	180	382	13
		-		84.0	29.9	0.7	1.3	0.6	23.1	24.2	2.4	5.1	0.2
内閣府調査	全体		2,715	2,082	1,281	134	74	25	662	719	133	133	19
		-		76.7	47.2	4.9	2.7	0.9	24.4	26.5	4.9	4.9	0.7
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,631	1,427	633	9	18	7	447	389	44	46	
			-	87.5	38.8	0.6	1.1	0.4	27.4	23.9	2.7	2.8	
		中央値の2分の1以上中央値未満	977	857	247	4	8	7	242	219	27	36	
		-	87.7	25.3	0.4	0.8	0.7	24.8	22.4	2.8	3.7		
		361	300	56	2	6	3	76	84	8	27		
		-	83.1	15.5	0.6	1.7	0.8	21.1	23.3	2.2	7.5		
内閣府調査	中央値以上	1,310	1,018	739	63	41	4	370	357	65	34		
		-	77.7	56.4	4.8	3.1	0.3	28.2	27.3	5.0	2.6		
	中央値の2分の1以上中央値未満	962	747	412	44	24	11	204	255	46	56		
	-	77.7	42.8	4.6	2.5	1.1	21.2	26.5	4.8	5.8			
	334	243	96	20	5	9	67	81	16	41			
	-	72.8	28.7	6.0	1.5	2.7	20.1	24.3	4.8	12.3			
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,642	2,321	869	13	23	11	707	621	69	78	
			-	87.9	32.9	0.5	0.9	0.4	26.8	23.5	2.6	3.0	
		ひとり親世帯	375	309	87	2	9	6	75	84	10	30	
		-	82.4	23.2	0.5	2.4	1.6	20.0	22.4	2.7	8.0		
		346	284	86	2	8	6	71	77	7	27		
		-	82.1	24.9	0.6	2.3	1.7	20.5	22.3	2.0	7.8		
内閣府調査	ふたり親世帯	2,341	1,827	1,151	114	65	14	609	624	115	96		
		-	78.0	49.2	4.9	2.8	0.6	26.0	26.7	4.9	4.1		
	ひとり親世帯	338	240	125	20	8	11	50	88	16	36		
	-	71.0	37.0	5.9	2.4	3.3	14.8	26.0	4.7	10.7			
	291	208	111	19	7	10	44	78	15	28			
	-	71.5	38.1	6.5	2.4	3.4	15.1	26.8	5.2	9.6			

²⁶ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(2) 1日当たりの勉強時間（中学生票 問3-ab、SA）

学校の授業以外での1日当たりの勉強時間について、「学校がある日（月～金曜日）」では、「1時間以上、2時間より少ない」が37.8%で最も割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が27.0%となっている。一方で、「まったくしない」は6.0%となっている。

「学校がない日（土・日曜日・祝日）」では、「1時間以上、2時間より少ない」が29.1%で最も割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が22.7%となっている。一方で、「まったくしない」は11.5%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「まったくしない」の割合が、「学校がある日（月～金曜日）」では7.5%、「学校がない日（土・日曜日・祝日）」では13.5%となっており、「中央値以上」の世帯と比べてそれぞれ4.3ポイント、5.2ポイント高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「まったくしない」の割合が、「学校がある日（月～金曜日）」で6.7%、「学校がない日（土・日曜日・祝日）」では13.6%となっており、「ふたり親世帯」と比べて、それぞれ2.9ポイント、5.1ポイント高くなっている。また、「学校がある日（月～金曜日）」では、「ふたり親世帯」に比べて、「30分以上、1時間より少ない」が32.0%と7.3ポイント高く、「1時間以上、2時間より少ない」が34.9%と8.1ポイント低くなっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体と大きな違いは見られない。

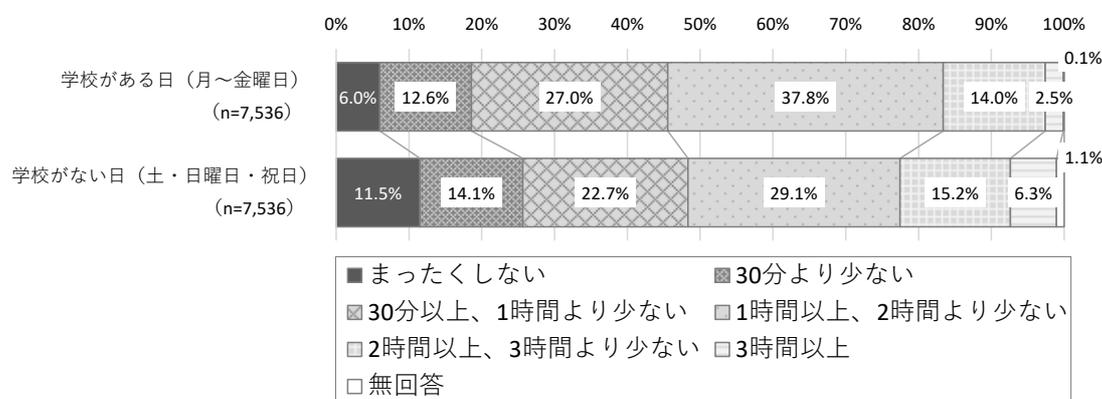


図 2-2-1-4 学校の授業以外の1日あたりの勉強時間

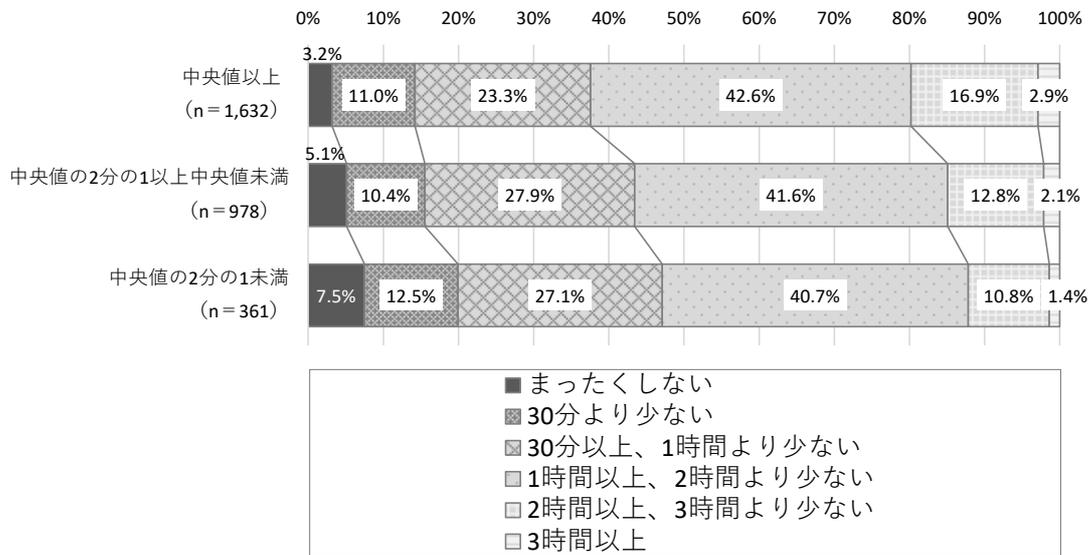


図 2-2-1-5 等価世帯収入の水準別、
学校の授業以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

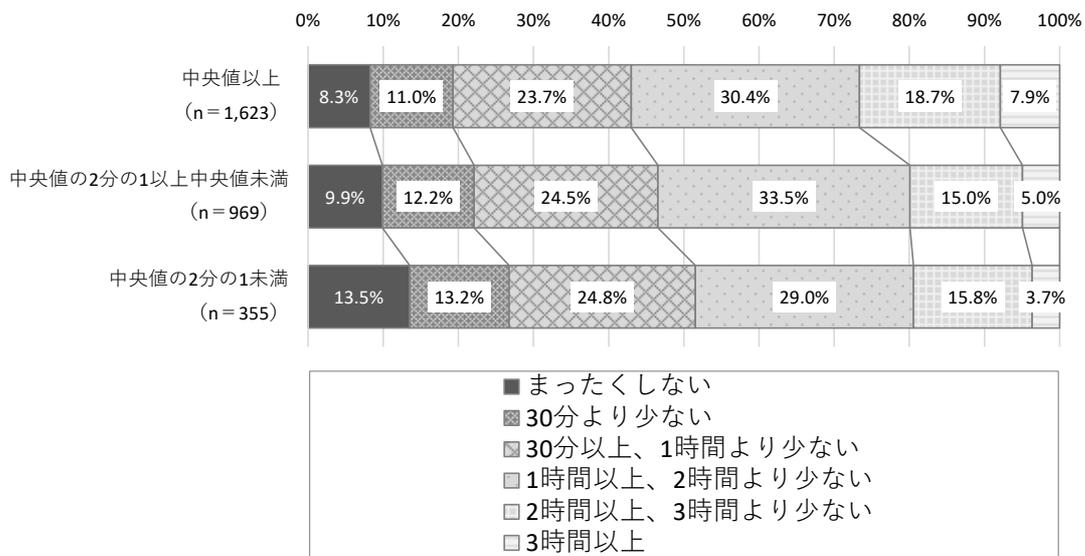


図 2-2-1-6 等価世帯収入の水準別、
学校の授業以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

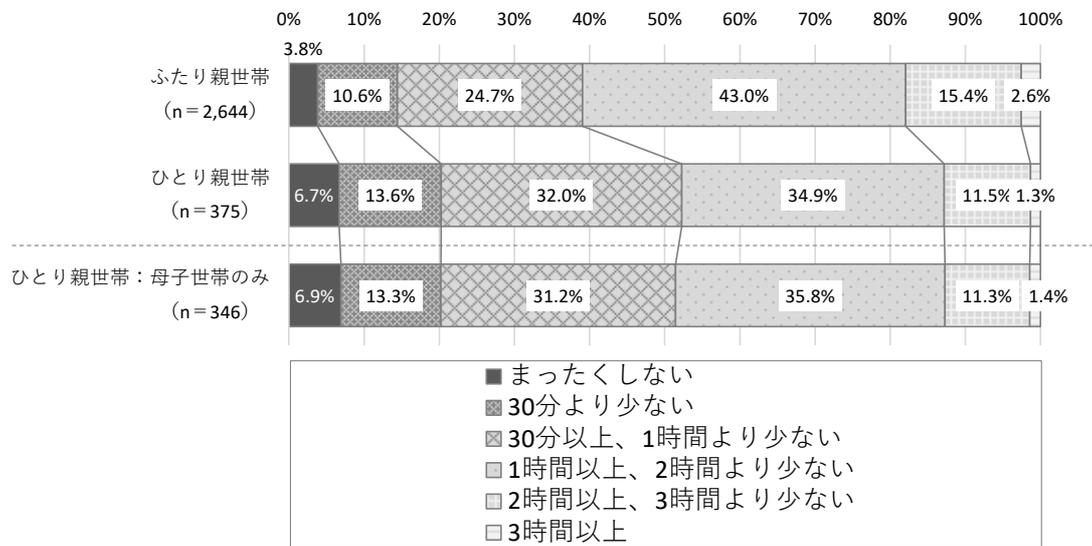


図 2-2-1-7 世帯の状況別、学校の授業以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

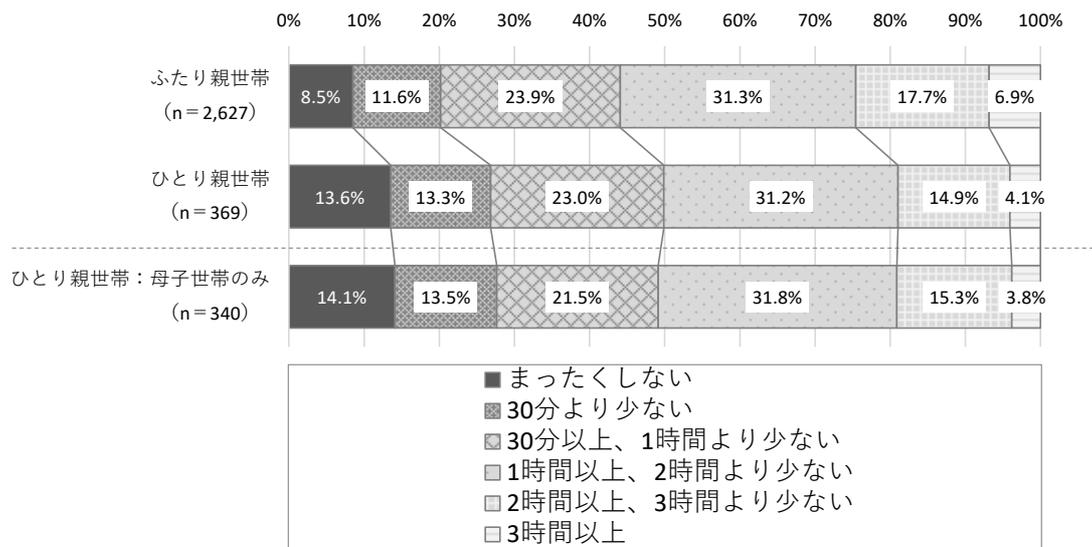


図 2-2-1-8 世帯の状況別、学校の授業以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

比較表 2-2-1-2 学校の授業以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）²⁷

		サンプル数	まったくしない	30分より少ない	1時間30分以上、 1時間より少ない	2時間1時間以上、 2時間より少ない	3時間2時間以上、 3時間より少ない	3時間以上	無回答
上段：度数 下段：%									
今回調査	全体	7,536 100.0	453 6.0	947 12.6	2,034 27.0	2,850 37.8	1,056 14.0	188 2.5	8 0.1
内閣府調査	全体	2,715 100.0	144 5.3	419 15.4	774 28.5	885 32.6	343 12.6	129 4.8	21 0.8
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,632 100.0	52 3.2	180 11.0	381 23.3	696 42.6	276 16.9	47 2.9
		中央値の2分の1以上中央値未満	978 100.0	50 5.1	102 10.4	273 27.9	407 41.6	125 12.8	21 2.1
		中央値の2分の1未満	361 100.0	27 7.5	45 12.5	98 27.1	147 40.7	39 10.8	5 1.4
	内閣府調査	中央値以上	1,309 100.0	45 3.4	175 13.4	363 27.7	431 32.9	209 16.0	86 6.6
		中央値の2分の1以上中央値未満	961 100.0	54 5.6	181 18.8	276 28.7	327 34.0	93 9.7	30 3.1
		中央値の2分の1未満	334 100.0	41 12.3	46 13.8	113 33.8	93 27.8	29 8.7	12 3.6
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,644 100.0	101 3.8	280 10.6	652 24.7	1,137 43.0	406 15.4	68 2.6
		ひとり親世帯	375 100.0	25 6.7	51 13.6	120 32.0	131 34.9	43 11.5	5 1.3
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	346 100.0	24 6.9	46 13.3	108 31.2	124 35.8	39 11.3	5 1.4
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,340 100.0	106 4.5	354 15.1	666 28.5	789 33.7	311 13.3	114 4.9
		ひとり親世帯	337 100.0	37 11.0	60 17.8	104 30.9	92 27.3	30 8.9	14 4.2
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	290 100.0	31 10.7	52 17.9	86 29.7	80 27.6	27 9.3	14 4.8

²⁷ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

比較表 2-2-1-3 学校の授業以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）²⁸

		サンプル数	まったくしない	30分より少ない	1時間30分以上、 1時間より少ない	2時間1時間以上、 2時間より少ない	3時間2時間以上、 3時間より少ない	3時間以上	無回答
上段：度数 下段：%									
今回調査	全体	7,536 100.0	870 11.5	1,063 14.1	1,709 22.7	2,194 29.1	1,145 15.2	475 6.3	80 1.1
内閣府調査	全体	2,715 100.0	341 12.6	415 15.3	613 22.6	645 23.8	394 14.5	259 9.5	48 1.8
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,623 100.0	134 8.3	179 11.0	385 23.7	493 30.4	304 18.7	128 7.9
		中央値の2分の1以上中央値未満	969 100.0	96 9.9	118 12.2	237 24.5	325 33.5	145 15.0	48 5.0
		中央値の2分の1未満	355 100.0	48 13.5	47 13.2	88 24.8	103 29.0	56 15.8	13 3.7
	内閣府調査	中央値以上	1,298 100.0	131 10.1	181 13.9	281 21.6	315 24.3	217 16.7	173 13.3
		中央値の2分の1以上中央値未満	954 100.0	125 13.1	169 17.7	241 25.3	233 24.4	124 13.0	62 6.5
		中央値の2分の1未満	327 100.0	72 22.0	50 15.3	76 23.2	80 24.5	34 10.4	15 4.6
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,627 100.0	224 8.5	306 11.6	628 23.9	823 31.3	466 17.7	180 6.9
		ひとり親世帯	369 100.0	50 13.6	49 13.3	85 23.0	115 31.2	55 14.9	15 4.1
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	340 100.0	48 14.1	46 13.5	73 21.5	108 31.8	52 15.3	13 3.8
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,320 100.0	268 11.6	345 14.9	536 23.1	575 24.8	360 15.5	236 10.2
		ひとり親世帯	330 100.0	71 21.5	65 19.7	74 22.4	68 20.6	31 9.4	21 6.4
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	285 100.0	62 21.8	56 19.6	61 21.4	56 19.6	30 10.5	20 7.0

²⁸ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(3) クラスの中での成績 (中学生票 問4、SA)

クラスの中での成績については、「上のほう」が10.6%、「やや上のほう」が18.8%、「まん中あたり」が26.5%、「やや下のほう」が16.4%、「下のほう」が21.4%、「わからない」が6.1%となっている。「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は37.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では25.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では35.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では43.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は、「ふたり親世帯」では29.6%、「ひとり親世帯」では40.5%、うち「母子世帯」のみでは40.5%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体と大きな違いは見られない。

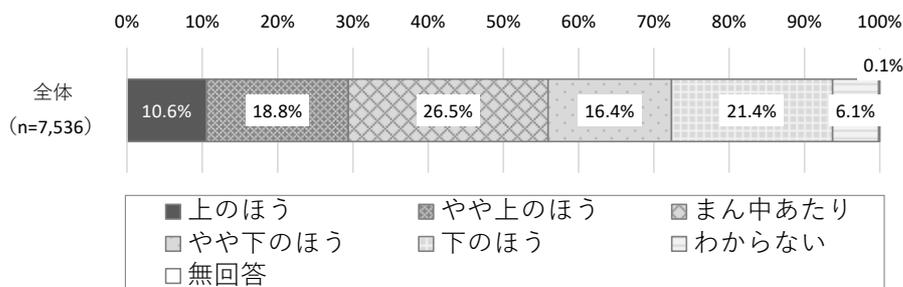


図 2-2-1-9 クラスの中での成績

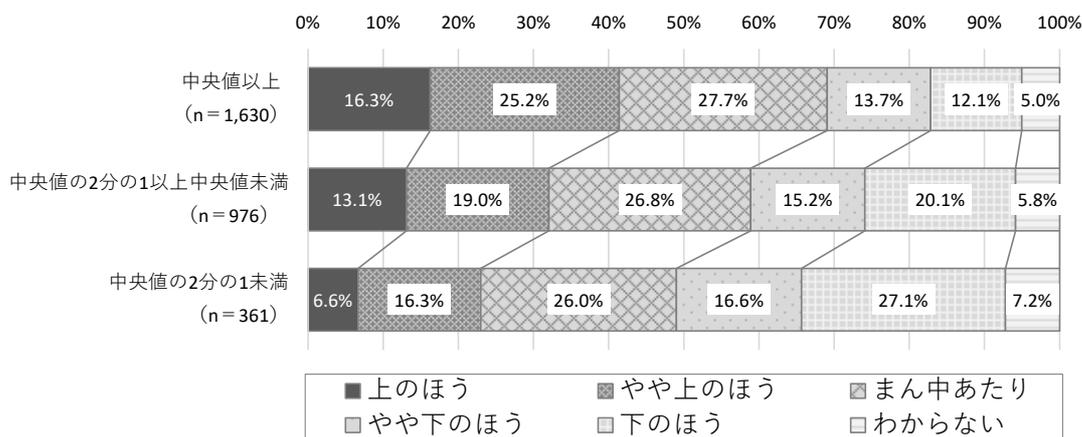


図 2-2-1-10 等価世帯収入の水準別、クラスの中での成績

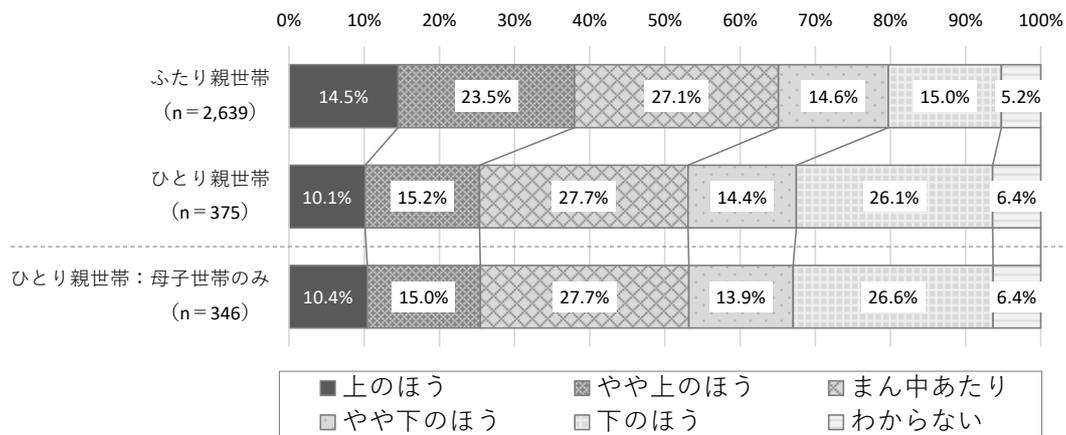


図 2-2-1-11 世帯状況別、クラスの中での成績

比較表 2-2-1-4 クラスの中での成績²⁹

		サンプル数	上のほう	やや上のほう	まん中あたり	やや下のほう	下のほう	わからない	無回答	
上段：度数										
下段：%										
今回調査	全体	7,536	796	1,420	1,999	1,236	1,613	463	9	
		100.0	10.6	18.8	26.5	16.4	21.4	6.1	0.1	
内閣府調査	全体	2,715	364	565	754	426	470	131	5	
		100.0	13.4	20.8	27.8	15.7	17.3	4.8	0.2	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,630	265	410	451	224	198	82	
			100.0	16.3	25.2	27.7	13.7	12.1	5.0	
		中央値の2分の1以上中央値未満	976	128	185	262	148	196	57	
		100.0	13.1	19.0	26.8	15.2	20.1	5.8		
	内閣府調査	中央値以上	361	24	59	94	60	98	26	
			100.0	6.6	16.3	26.0	16.6	27.1	7.2	
中央値の2分の1未満		1,316	218	327	380	200	142	49		
	100.0	16.6	24.8	28.9	15.2	10.8	3.7			
内閣府調査	中央値の2分の1以上中央値未満	966	114	178	268	156	195	55		
		100.0	11.8	18.4	27.7	16.1	20.2	5.7		
	中央値の2分の1未満	336	23	36	80	64	111	22		
	100.0	6.8	10.7	23.8	19.0	33.0	6.5			
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,639	383	619	716	386	397	138	
			100.0	14.5	23.5	27.1	14.6	15.0	5.2	
		ひとり親世帯	375	38	57	104	54	98	24	
		100.0	10.1	15.2	27.7	14.4	26.1	6.4		
	内閣府調査	ひとり親世帯：母子世帯のみ	346	36	52	96	48	92	22	
			100.0	10.4	15.0	27.7	13.9	26.6	6.4	
ふたり親世帯		2,354	337	525	663	364	357	108		
	100.0	14.3	22.3	28.2	15.5	15.2	4.6			
内閣府調査	ひとり親世帯	339	24	36	86	60	110	23		
		100.0	7.1	10.6	25.4	17.7	32.4	6.8		
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	292	23	31	75	52	92	19		
	100.0	7.9	10.6	25.7	17.8	31.5	6.5			

²⁹ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(4) 授業の理解状況（中学生票 問5、SA）

学校の授業の理解状況については、「いつもわかる」が10.4%、「だいたいわかる」が39.4%、「教科によってはわからないことがある」が42.2%、「わからないことが多い」が5.8%、「ほとんどわからない」が2.0%となっている。「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は7.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では5.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では7.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では10.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では6.0%、「ひとり親世帯」では10.7%、うち「母子世帯」のみでは11.0%となっている。

今回調査と内閣府調査結果を比較すると、内閣府調査の全体で「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は11.4%であり、特に等価世帯収入の水準別における「中央値の2分の1未満」の世帯での割合は24.0%と、今回調査（10.9%）の方が13.1ポイント低くなっている。

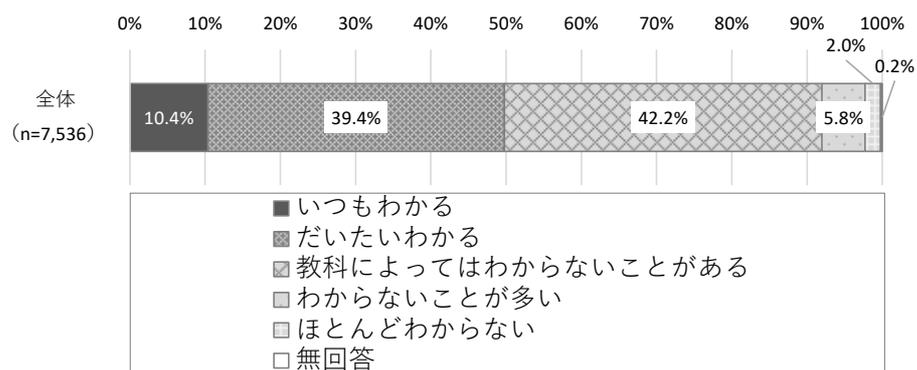


図 2-2-1-12 授業の理解状況

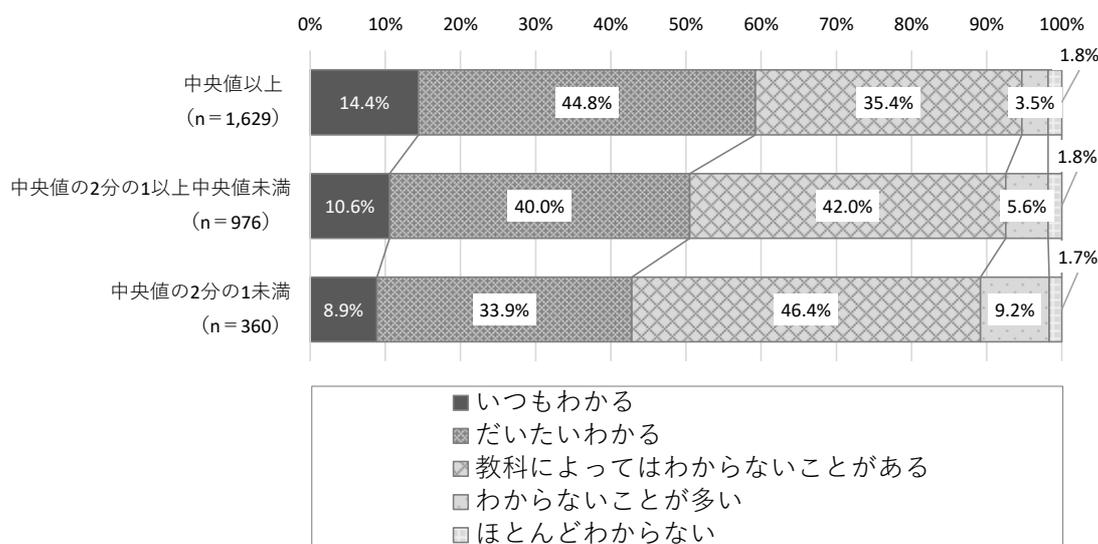


図 2-2-1-13 等価世帯収入の水準別、授業の理解状況

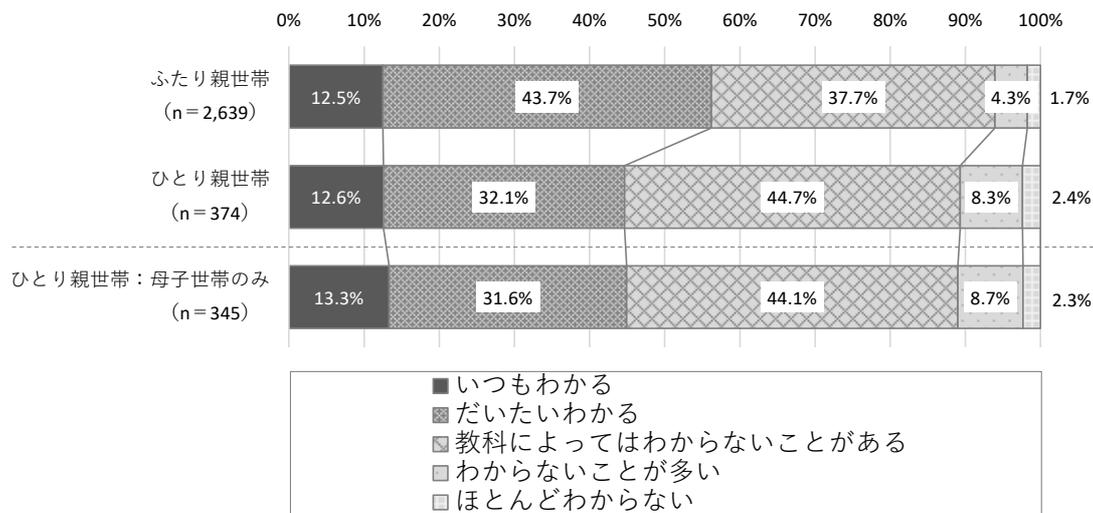


図 2-2-1-14 世帯の状況別、授業の理解状況

比較表 2-2-1-5 授業の理解状況³⁰

		サンプル数	いつもわかる	だいたいわかる	わからないこと 教科によつては わからないことがある	わからないことが多い	ほとんどわからない	無回答	
今回調査	全体	7,536	783	2,968	3,179	434	154	18	
		100.0	10.4	39.4	42.2	5.8	2.0	0.2	
内閣府調査	全体	2,715	274	931	1,194	234	76	6	
		100.0	10.1	34.3	44.0	8.6	2.8	0.2	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,629	235	730	577	57	30	
			100.0	14.4	44.8	35.4	3.5	1.8	
		中央値の2分の1以上中央値未満	976	103	390	410	55	18	
		100.0	10.6	40.0	42.0	5.6	1.8		
	内閣府調査	中央値以上	360	32	122	167	33	6	
			100.0	8.9	33.9	46.4	9.2	1.7	
中央値の2分の1未満		1,315	176	550	493	79	17		
	100.0	13.4	41.8	37.5	6.0	1.3			
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,639	330	1,153	996	114	46	
			100.0	12.5	43.7	37.7	4.3	1.7	
		ひとり親世帯	374	47	120	167	31	9	
	100.0	12.6	32.1	44.7	8.3	2.4			
内閣府調査	ひとり親世帯：母子世帯のみ	ふたり親世帯	345	46	109	152	30	8	
			100.0	13.3	31.6	44.1	8.7	2.3	
		ひとり親世帯	2,354	253	842	1,027	177	55	
	100.0	10.7	35.8	43.6	7.5	2.3			
世帯の状況別	内閣府調査	ひとり親世帯	338	19	86	158	54	21	
			100.0	5.6	25.4	46.7	16.0	6.2	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	292	16	74	141	46	15	
	100.0	5.5	25.3	48.3	15.8	5.1			

³⁰ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(5) 授業がわからなくなった時期（中学生票 問6、SA）

学校の授業がわからないことが「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた方に、わからなくなった時期について尋ねた。「小学1・2年生のころ」が2.7%、「小学3・4年生のころ」が6.1%、「小学5・6年生のころ」が15.8%、「中学1年生のころ」が56.0%、「中学2年生になってから」が18.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1以上中央値未満」と「中央値の2分の1未満」の世帯では、授業がわからなくなった時期について「小学5・6年生のころ」の割合が「中央値以上」の世帯と比べてやや高くなっているが、大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「小学5・6年生のころ」の割合が18.4%と「ふたり親世帯」に比べてやや高くなっているが、大きな差はみられない。

また、授業がわからなくなった時期について授業の理解状況別にみると、授業の理解状況の回答がいずれの場合も、授業がわからなくなった時期の回答は「中学1年生のころ」の割合が最も高いが、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」と回答した場合には、「小学5・6年生のころ」の回答割合が約2割、さらにそれよりも早い時期であるとの回答が2割を超えており、早期からわからなくなったと回答する割合が高くなっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「中学1年生のころ」が50.5%と、今回調査（56.0%）の方が5.5ポイント高くなっている。

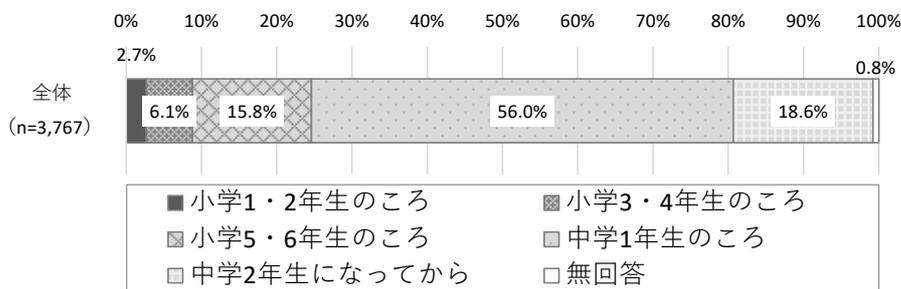


図 2-2-1-15 授業がわからなくなった時期

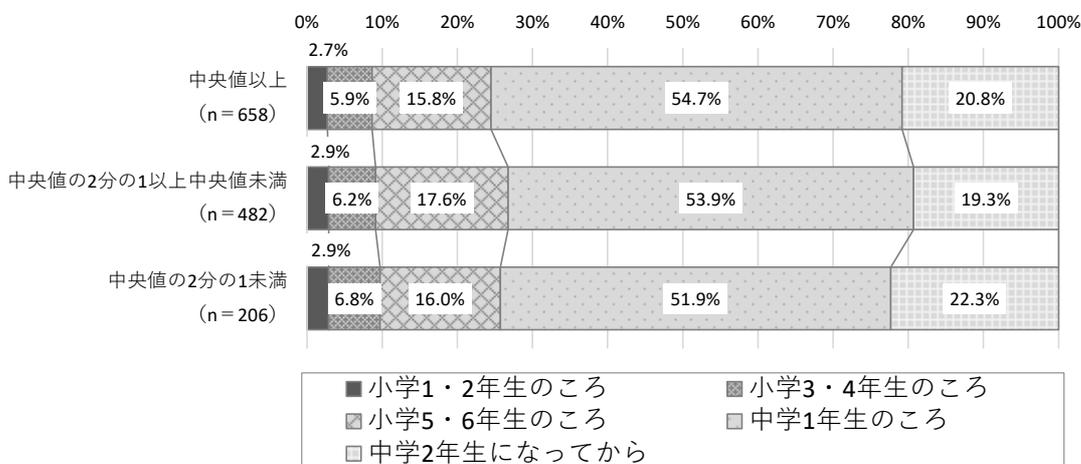


図 2-2-1-16 等価世帯収入の水準別、授業がわからなくなった時期

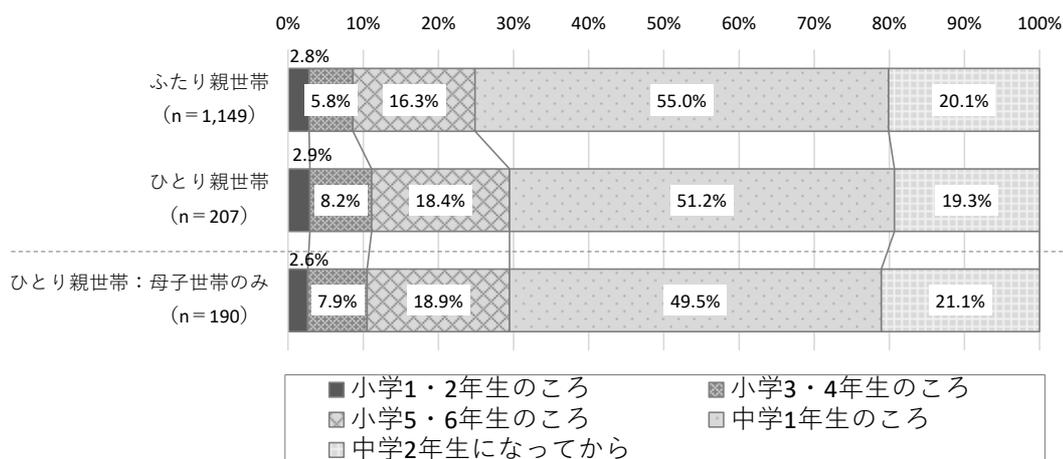


図 2-2-1-17 世帯の状況別、授業がわからなくなった時期

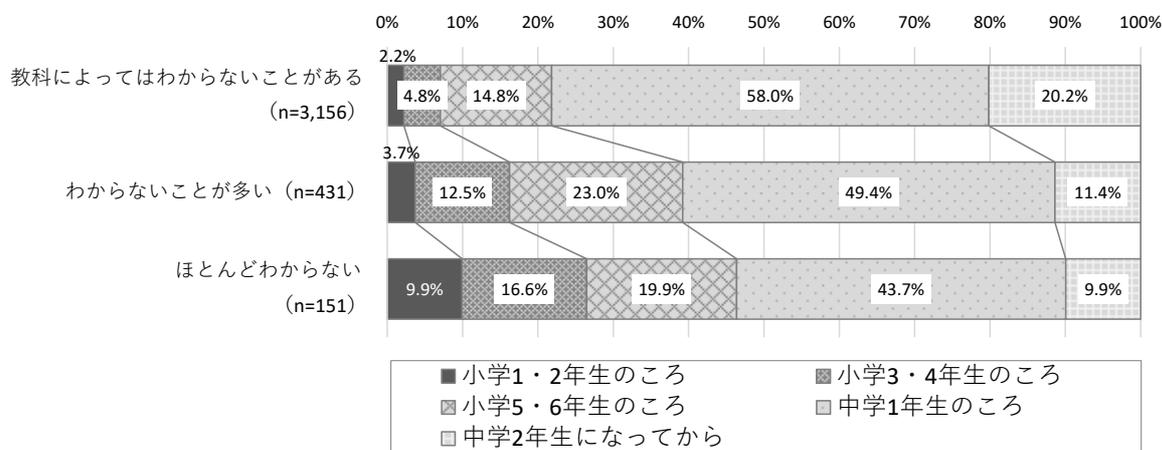


図 2-2-1-18 授業の理解状況別、授業がわからなくなった時期

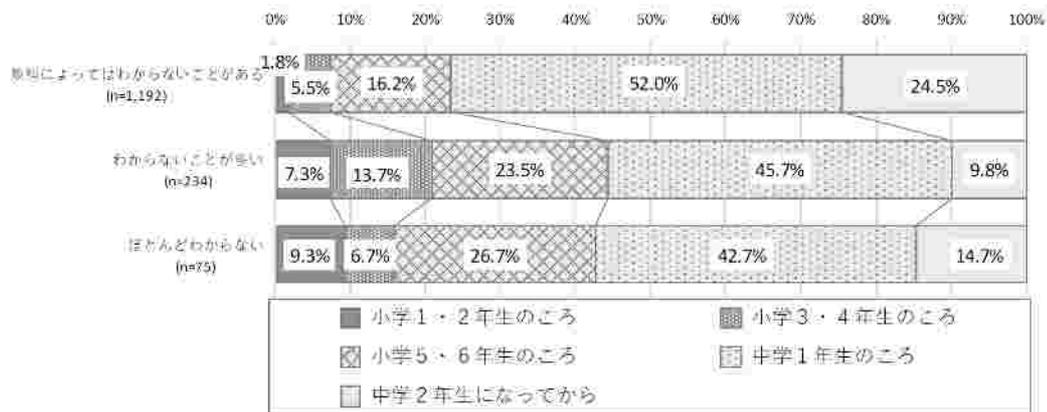


図 2-2-1-18 授業の理解状況別、授業がわからなくなった時期

(参考データ³¹) 内閣府調査「令和3年度子供の生活状況調査の分析」P.66

³¹ 比較する内閣府調査結果の数値が公表されていないため、当該調査の分析報告書から引用。

比較表 2-2-1-6 授業がわからなくなった時期³²

		サンプル数	小学 1・2 年生の ころ	小学 3・4 年生の ころ	小学 5・6 年生の ころ	中学 1年生の ころ	中学 2年生に なっ てから	無 回 答
上段：度数 下段：%								
今回調査	全体	3,767 100.0	101 2.7	231 6.1	596 15.8	2,110 56.0	700 18.6	29 0.8
内閣府調査	全体	1,504 100.0	45 3.0	103 6.8	268 17.8	759 50.5	326 21.7	3 0.2
等 価 世 帯 収 入 の 水 準 別	今 回 調 査	中央値以上	658 100.0	18 2.8	39 5.9	104 15.8	360 54.7	137 20.8
		中央値の2分の1以上中央値未満	482 100.0	14 2.9	30 6.2	85 17.6	260 53.9	93 19.3
		中央値の2分の1未満	206 100.0	6 2.9	14 6.8	33 16.0	107 51.9	46 22.3
	内 閣 府 調 査	中央値以上	589 100.0	19 3.2	37 6.3	100 17.0	285 48.4	148 25.1
		中央値の2分の1以上中央値未満	610 100.0	18 3.0	43 7.0	104 17.0	310 50.8	135 22.1
		中央値の2分の1未満	241 100.0	6 2.5	16 6.6	51 21.2	136 56.4	32 13.3
世 帯 の 状 況 別	今 回 調 査	ふたり親世帯	1,149 100.0	32 2.8	67 5.8	187 16.3	632 55.0	231 20.1
		ひとり親世帯	207 100.0	6 2.9	17 8.2	38 18.4	106 51.2	40 19.3
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	190 100.0	5 2.6	15 7.9	36 18.9	94 49.5	40 21.1
	内 閣 府 調 査	ふたり親世帯	1,256 100.0	39 3.1	81 6.4	223 17.8	617 49.1	296 23.6
		ひとり親世帯	233 100.0	6 2.6	22 9.4	45 19.3	130 55.8	30 12.9
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	202 100.0	6 3.0	16 7.9	38 18.8	116 57.4	26 12.9

³² 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

2.2.2. 進学希望

(1) 進学したいと思う教育段階（中学生票 問7、SA）

将来どの段階まで進学したいかについては、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学まで」が33.9%、「中学、高校まで」が21.7%、「まだわからない」が19.2%となっている。「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学まで」と「中学、高校(または5年制の専門学校)、大学、大学院まで」を合わせた割合は、36.9%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学まで」と「中学、高校(または5年制の専門学校)、大学、大学院まで」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では49.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では33.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では23.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学まで」と「中学、高校(または5年制の専門学校)、大学、大学院まで」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では42.8%、「ひとり親世帯」では29.1%、うち「母子世帯」のみでは29.5%となっている。

また、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1未満」の場合に、クラスの中での成績別にみると、収入の水準が低い場合であっても、成績が「上のほう」の場合には、進学したいと思う教育段階について「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学まで」と「中学、高校(または5年制の専門学校)、大学、大学院まで」を合わせた割合が58.3%と比較的高くなっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、選択肢が異なるため、比較が難しい³³が、内閣府調査の全体で「大学またはそれ以上」³⁴が49.7%と、今回調査(36.9%)が12.8ポイント低くなっている。一方で、「中学、高校まで」が14.8%と、今回調査(21.7%)が6.9ポイント高くなっている。

³³ 内閣府調査における調査項目は、「中学まで」、「高校まで」、「短大・高専・専門学校まで」、「大学、またはそれ以上」、「まだわからない」。また、内閣府調査では「その他」の選択肢が設けられていない。

³⁴ 今回調査における「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学まで」と「中学、高校(または5年制の専門学校)、大学、大学院まで」を合わせた割合

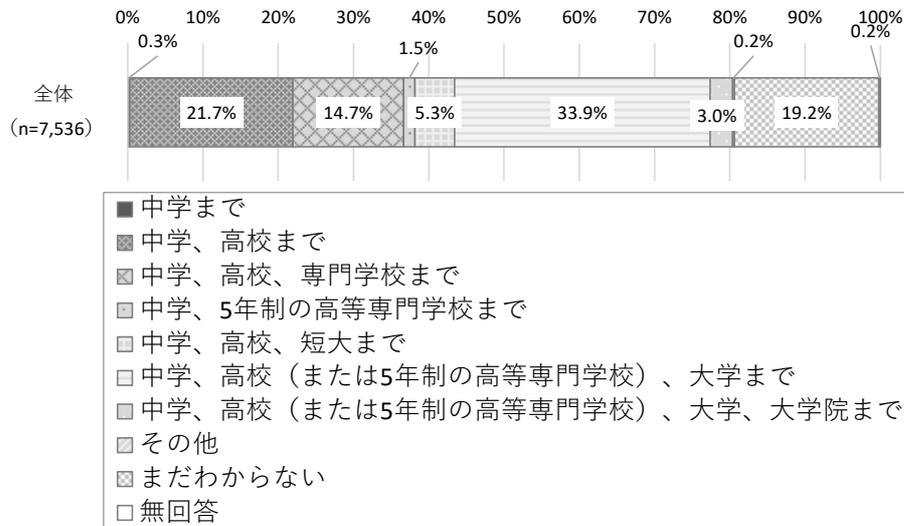


図 2-2-2-1 進学したいと思う教育段階

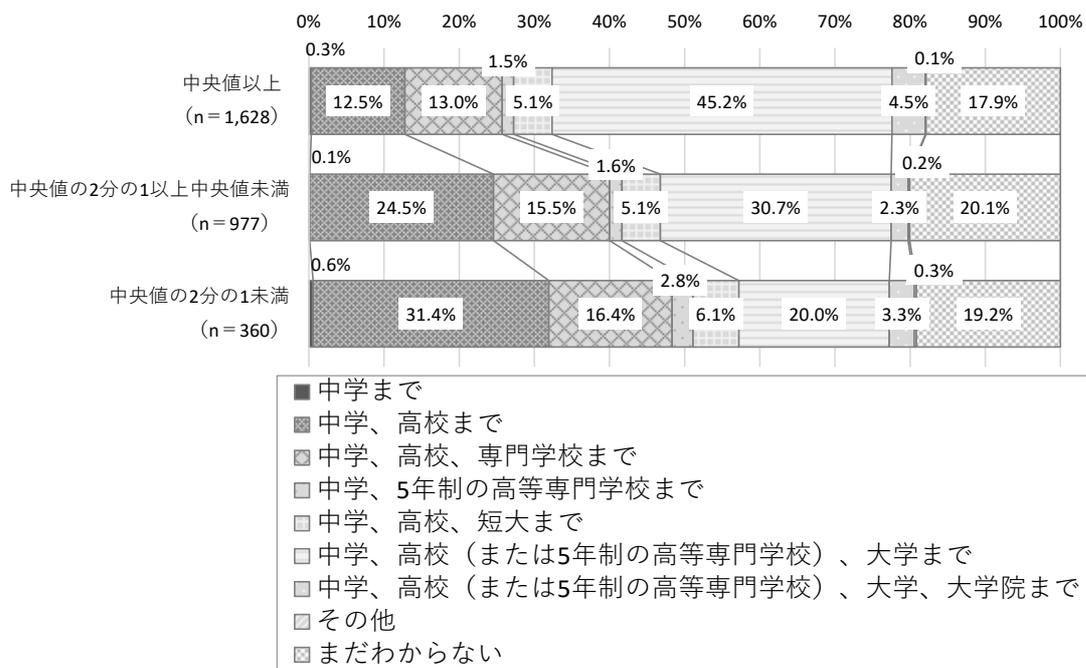


図 2-2-2-2 等価世帯収入の水準別、進学したいと思う教育段階

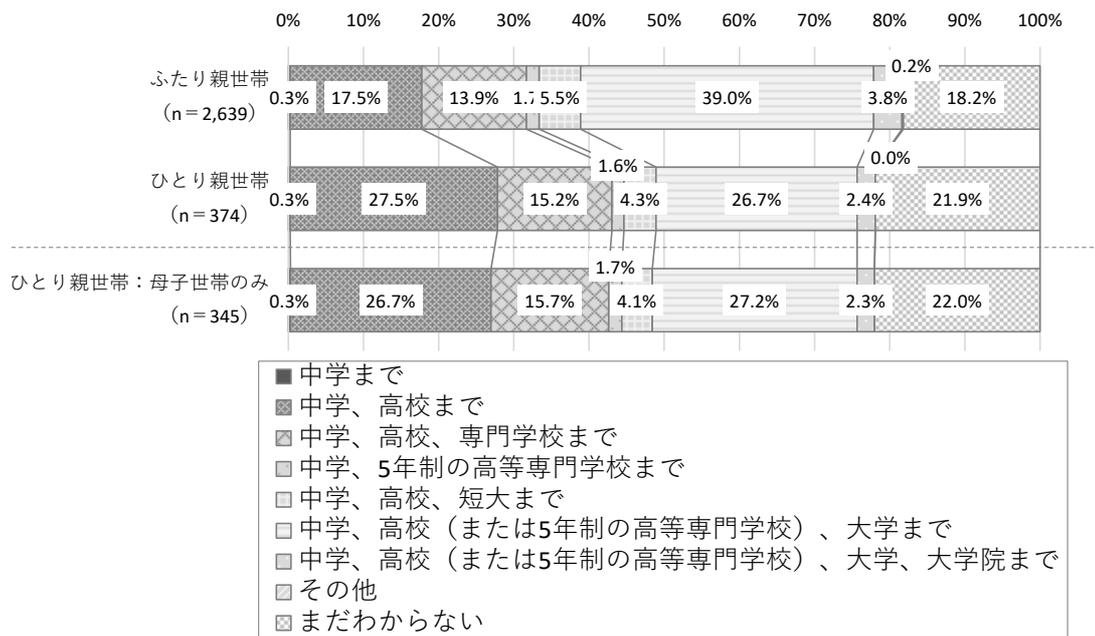


図 2-2-2-3 世帯の状況別、進学したいと思う教育段階

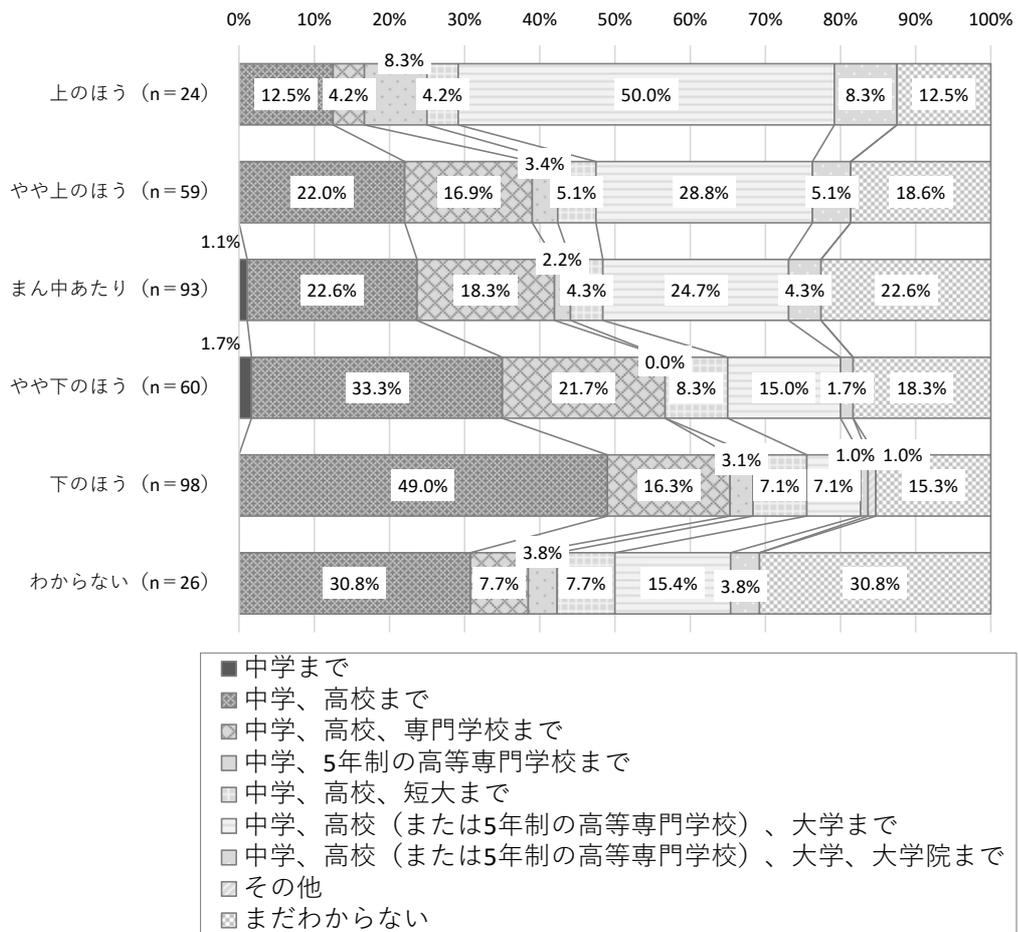


図 2-2-2-4 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合のクラスの中での成績別、進学したいと思う教育段階

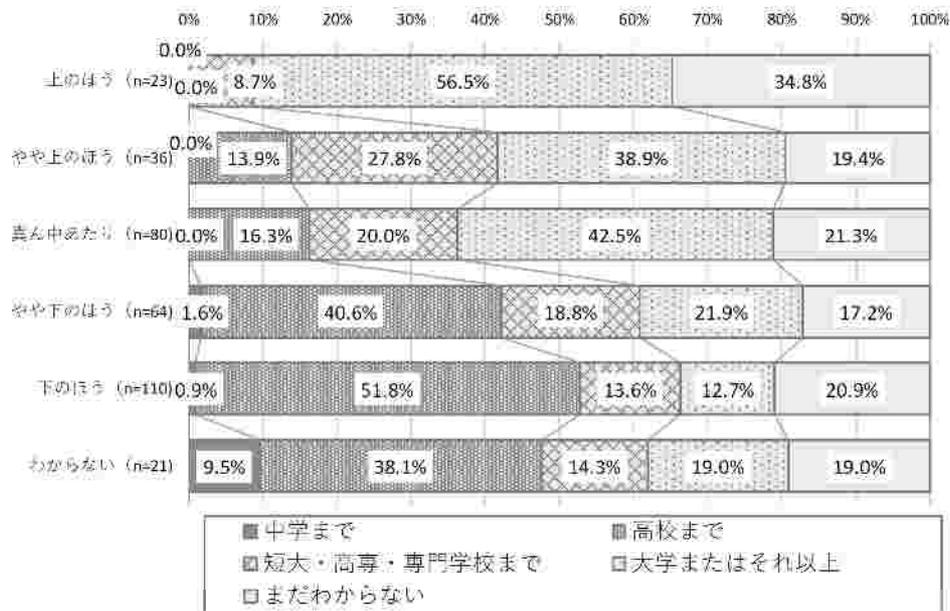


図 2-2-2-4 等価世帯収入が「中央値の 2 分の 1 未満」の場合のクラスの中での成績別、進学したいと思う教育段階

(参考データ³⁵) 内閣府調査「令和 3 年度子供の生活状況調査の分析」P.68

³⁵ 比較する内閣府調査結果の数値が公表されていないため、当該調査の分析報告書から引用。

比較表 2-2-2-1 進学したいと思う教育段階³⁶

		サンプル数	中学まで	中学、高校まで	中学、高校、専門学校まで	中学、5年制の高等専門学校まで	中学、高校、短大まで	中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで	中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院まで	その他	まだわからない	無回答		
上段：度数 下段：%														
今回調査	全体	7,536 100.0	22 0.3	1,632 21.7	1,110 14.7	112 1.5	398 5.3	2,558 33.9	225 3.0	18 0.2	1,446 19.2	15 0.2		
内閣府調査	全体	2,715 100.0	7 0.3	401 14.8	443 16.3		1,349 49.7				495 18.2	20 0.7		
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,628 100.0	5 0.3	203 12.5	211 13.0	25 1.5	83 5.1	736 45.2	73 4.5	1 0.1	291 17.9		
		中央値の2分の1以上中央値未満	977 100.0	1 0.1	239 24.5	151 15.5	16 1.6	50 5.1	300 30.7	22 2.3	2 0.2	196 20.1		
		中央値の2分の1未満	360 100.0	2 0.6	113 31.4	59 16.4	10 2.8	22 6.1	72 20.0	12 3.3	1 0.3	69 19.2		
		内閣府調査	中央値以上	1,310 100.0	2 0.2	101 7.7	162 12.4			842 64.3				203 15.5
	中央値の2分の1以上中央値未満	959 100.0	1 0.1	181 18.9		207 21.6			365 38.1		0.0	205 21.4		
	中央値の2分の1未満	336 100.0	4 1.2	110 32.7		58 17.3			94 28.0		0.0	70 20.8		
	世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,639 100.0	7 0.3	462 17.5	367 13.9	45 1.7	145 5.5	1,029 39.0	100 3.8	4 0.2		480 18.2
			ひとり親世帯	374 100.0	1 0.3	103 27.5	57 15.2	6 1.6	16 4.3	100 26.7	9 2.4	0 0.0		82 21.9
ひとり親世帯：母子世帯のみ			345 100.0	1 0.3	92 26.7	54 15.7	6 1.7	14 4.1	94 27.2	8 2.3	0 0.0	76 22.0		
内閣府調査		ふたり親世帯	2,341 100.0	5 0.2	318 13.6		378 16.1		1,222 52.2			418 17.9		
ひとり親世帯	337 100.0	2 0.6	82 24.3		64 19.0			117 34.7		0.0	72 21.4			
ひとり親世帯：母子世帯のみ	290 100.0	2 0.7	69 23.8		55 19.0			102 35.2		0.0	62 21.4			

³⁶ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(2) 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況（保護者票 問15、中学生票 問7）

保護者が考える子どもの進路段階に関する希望・展望の回答と、子ども自身が進学したいと思う教育段階の一致・不一致の状況について、内閣府調査と同様、「教育段階一致」、「保護者の方が高い段階」、「子どもの方が高い段階」、「保護者・子どもともに未定」、「保護者未定」、「子ども未定」の6分類で集計した³⁷。その結果、「教育段階一致」の割合は、44.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」の割合は、「中央値以上」の世帯では47.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では41.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では42.9%となっている。「中央値の2分の1未満」の世帯では、「子どものほうが高い段階」が16.7%で、「中央値以上」の世帯（12.3%）と比べて4.4ポイント高くなっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」の割合は、「ふたり親世帯」で45.0%、「ひとり親世帯」で43.3%、うち「母子世帯」のみでは43.8%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「教育段階一致」の割合は61.5%と、今回調査（44.7%）が16.8ポイント低くなっている。

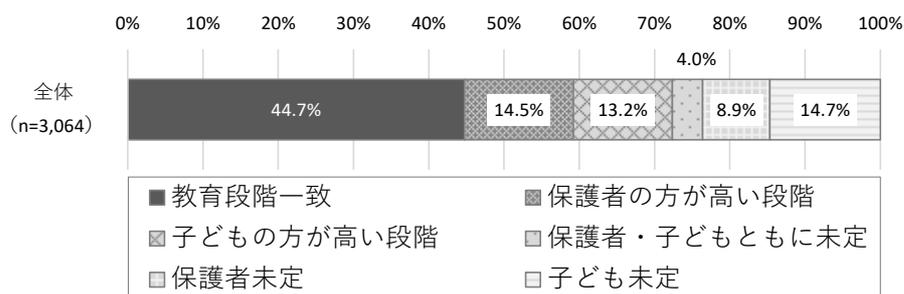


図 2-2-2-5 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況



図 2-2-2-5 保護者と子供の考えの一致・不一致の状況

(参考データ³⁸) 内閣府調査「令和3年度子供の生活状況調査の分析」P.69

³⁷ 保護者・子どものいずれか、または両方が「不明・無回答」の場合は集計の対象外としている。

³⁸ 比較する内閣府調査結果の数値が公表されていないため、当該調査の分析報告書から引用。

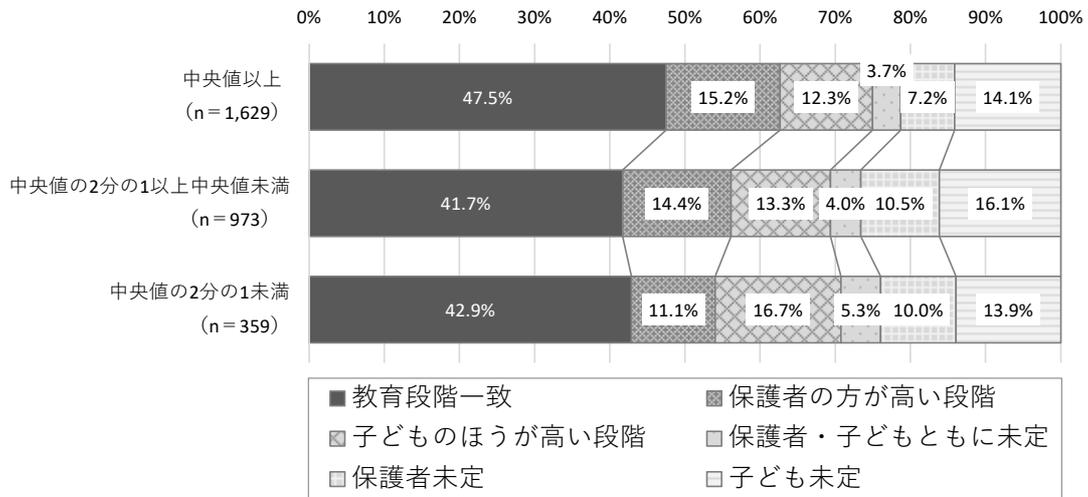


図 2-2-2-6 等価世帯収入の水準別、保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況

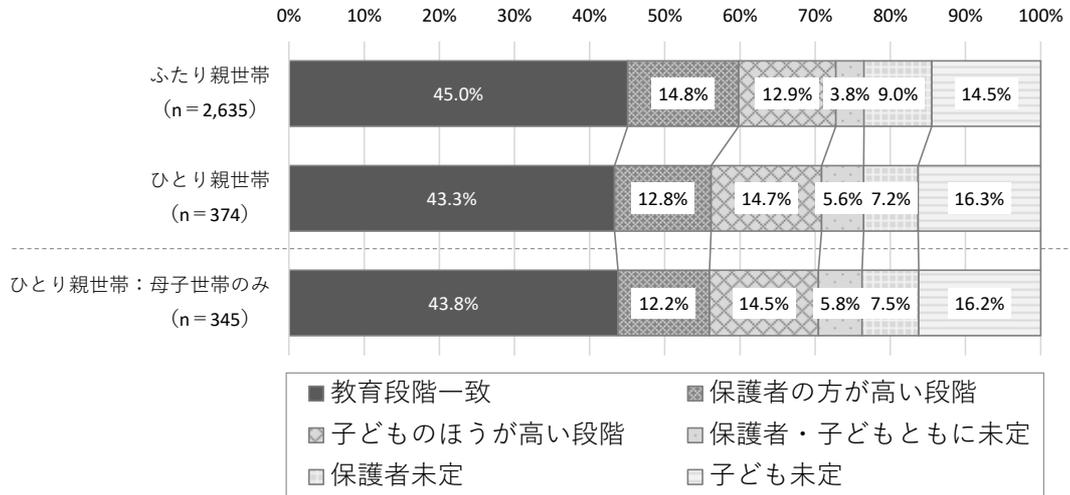


図 2-2-2-7 世帯の状況別、保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況

(3) 進学希望の教育段階についてそう考える理由（中学生票 問8、MA）

進学希望のある方（「まだわからない」以外を回答した方）に、進学希望の理由について尋ねたところ、「希望する学校や職業があるから」が 57.0%、「自分の成績から考えて」が 18.0%、「親がそう言っているから」が 17.8%となっている。「その他」は、「将来のため（将来に役立つと思うから）」等であった。

進学したいと思う教育段階別にみると、進学希望の教育段階が「中学まで」と「中学、高校まで」で「自分の成績から考えて」がそれぞれ 28.6%、27.8%、「家にお金がないと思うから」がそれぞれ 9.5%、4.6%と、他の場合と比べて高くなっている。一方で、「希望する学校や職業があるから」がそれぞれ 28.6%、35.7%と低くなっている。

「中学、高校まで」と回答した理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯で、「親がそう言っているから」が 22.1%、「家にお金がないと思うから」が 11.5%、「早く働く必要があるから」が 8.0%で、「中央値以上」の世帯と比べて、それぞれ 10.7 ポイント、8.5 ポイント、2.6 ポイント高くなっている。一方、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで」と回答した理由をみると、「中央値の2分の1未満」の世帯で、「希望する学校や職業があるから」の割合が 55.4%で、「中央値以上」の世帯（62.2%）と比べて 6.8 ポイント低くなっている。

世帯の状況別では、「中学、高校まで」と回答した理由も「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで」と回答した理由も大きな差は見られなかった。

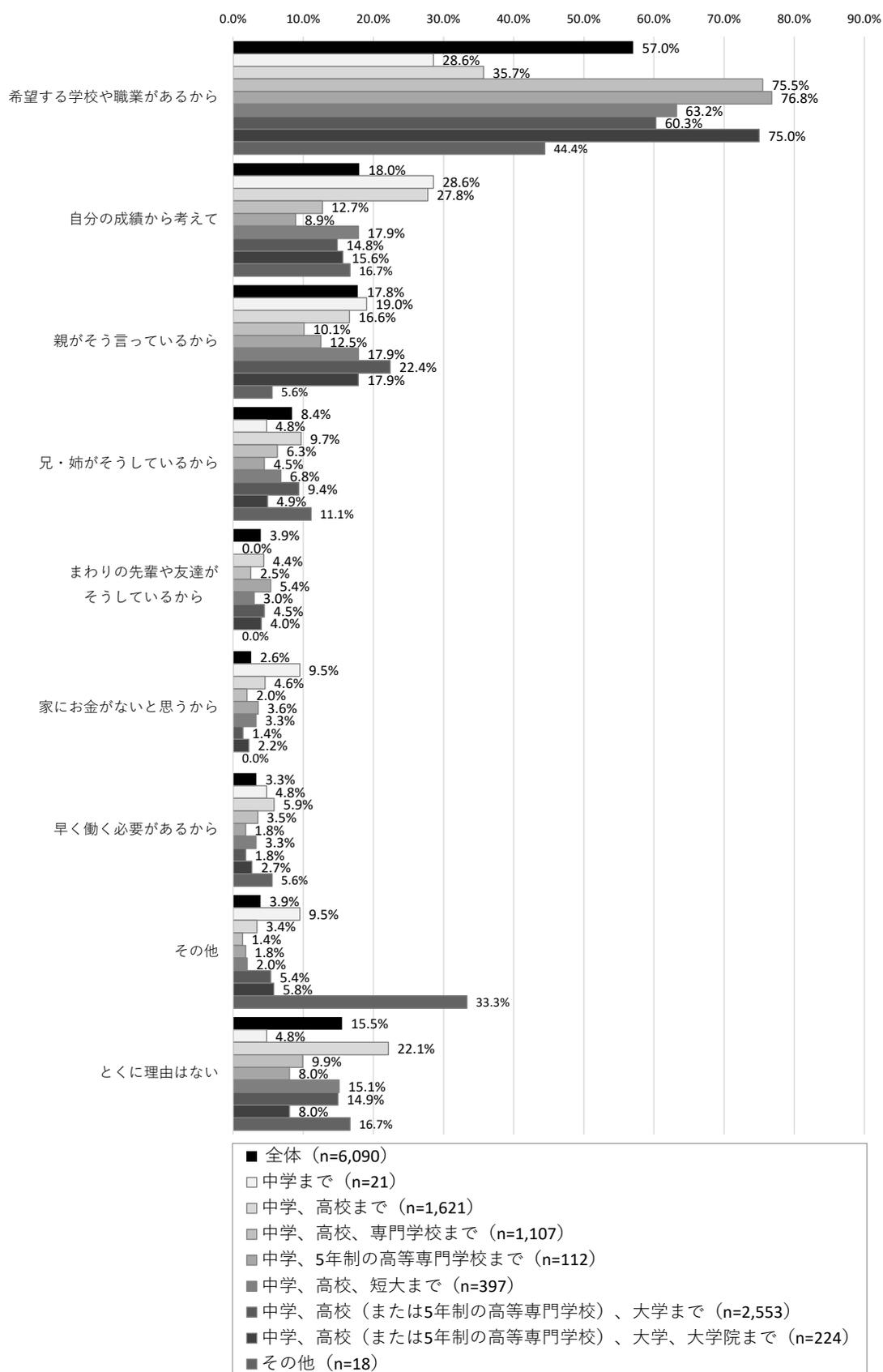


図 2-2-2-8 進学希望の教育段階についてそう考える理由

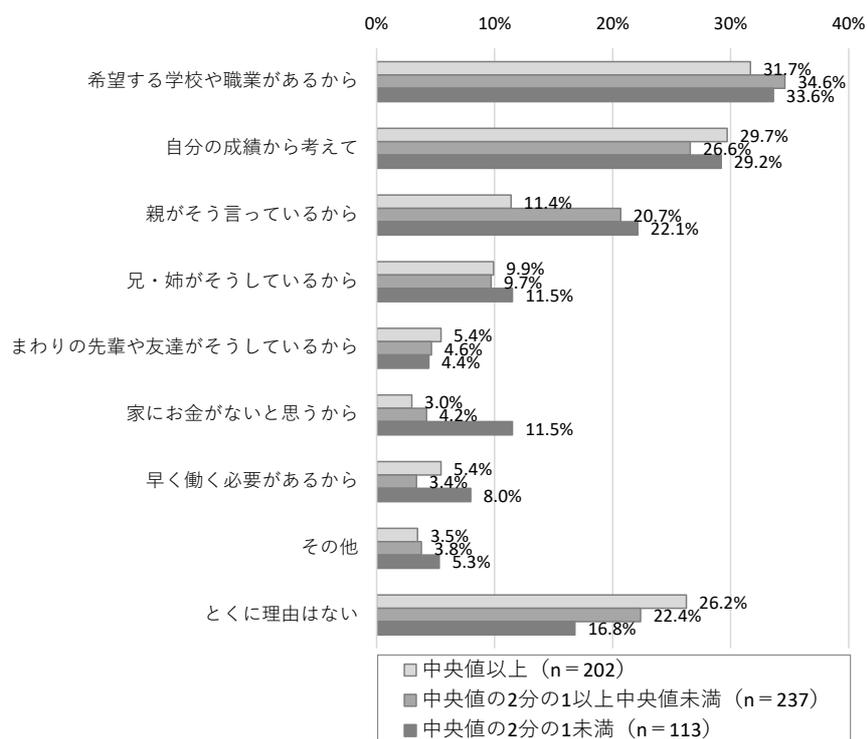


図 2-2-2-9 等価世帯収入の水準別、進学希望の教育段階について「中学、高校まで」と考える理由

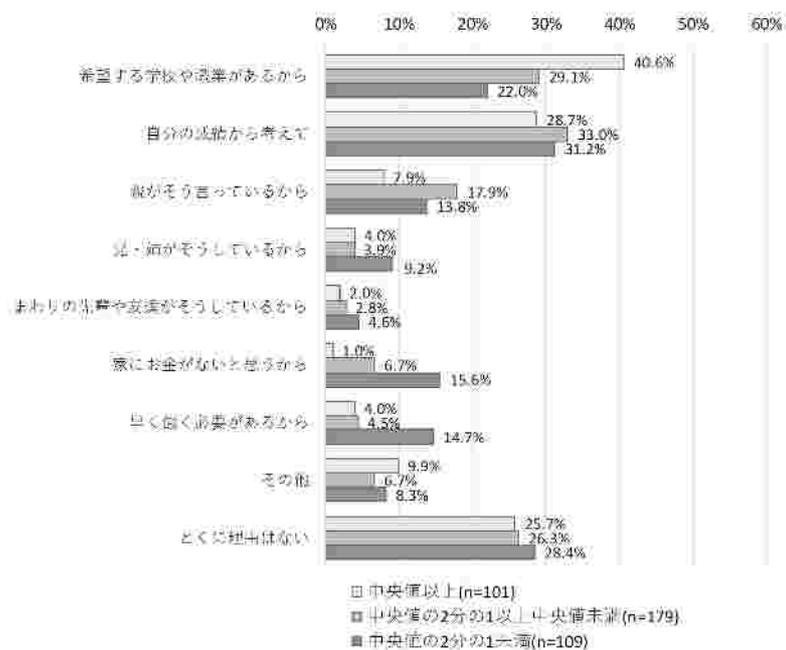


図 2-2-2-9 等価世帯収入の水準別、進学希望の教育段階について「高校まで」と考える理由

(参考データ³⁹) 内閣府調査「令和3年度子供の生活状況調査の分析」P.71

³⁹ 比較する内閣府調査結果の数値が公表されていないため、当該調査の分析報告書から引用。

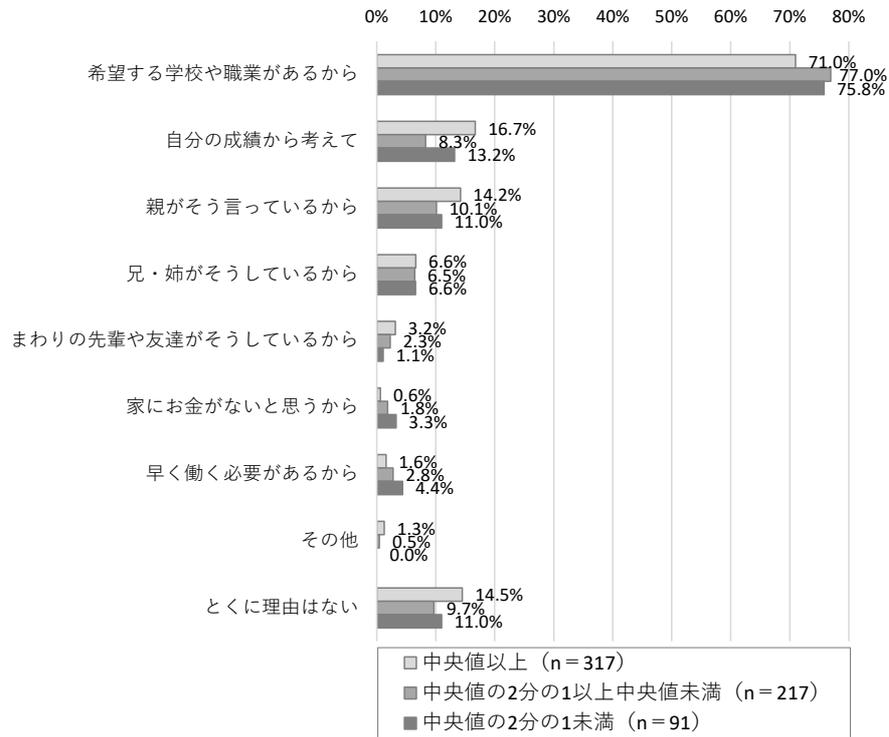


図 2-2-2-10 等価世帯収入の水準別、進学希望の教育段階について「中学、高校、専門学校、5年制の高等専門学校、短大まで」と考える理由

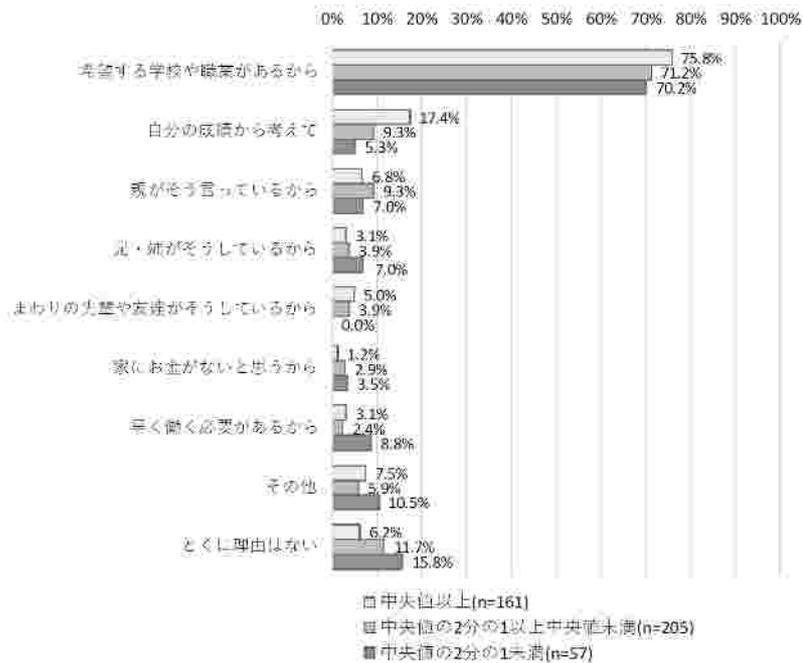


図 2-2-2-10 等価世帯収入の水準別、進学希望の教育段階について「短大・高専・専門学校まで」と考える理由

(参考データ⁴⁰) 内閣府調査「令和3年度子供の生活状況調査の分析」P.72

⁴⁰ 比較する内閣府調査結果の数値が公表されていないため、当該調査の分析報告書から引用。

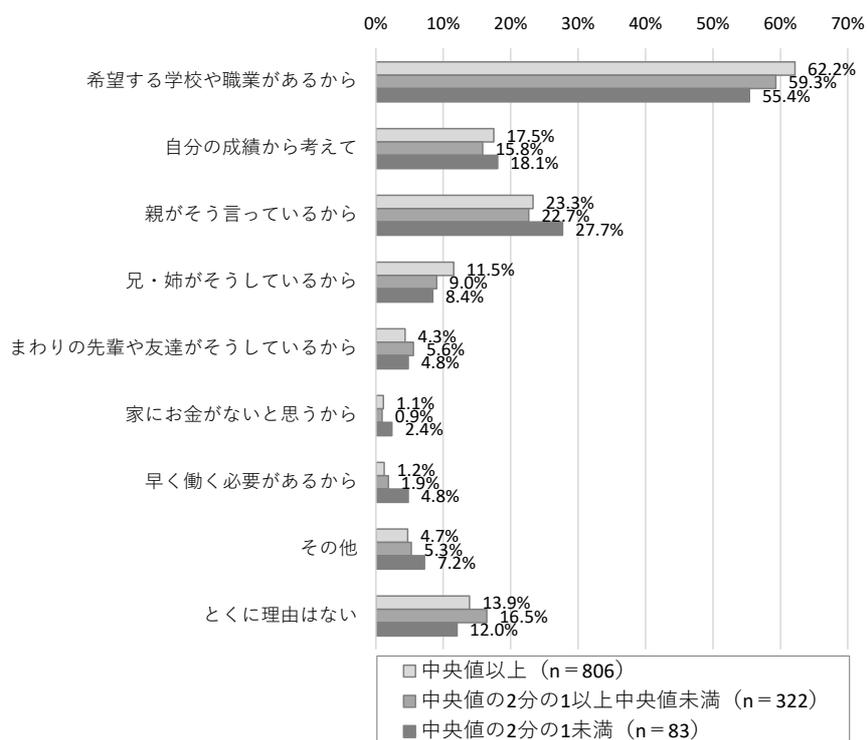


図 2-2-2-11 等価世帯収入の水準別、進学希望の教育段階について「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院まで」と考える理由

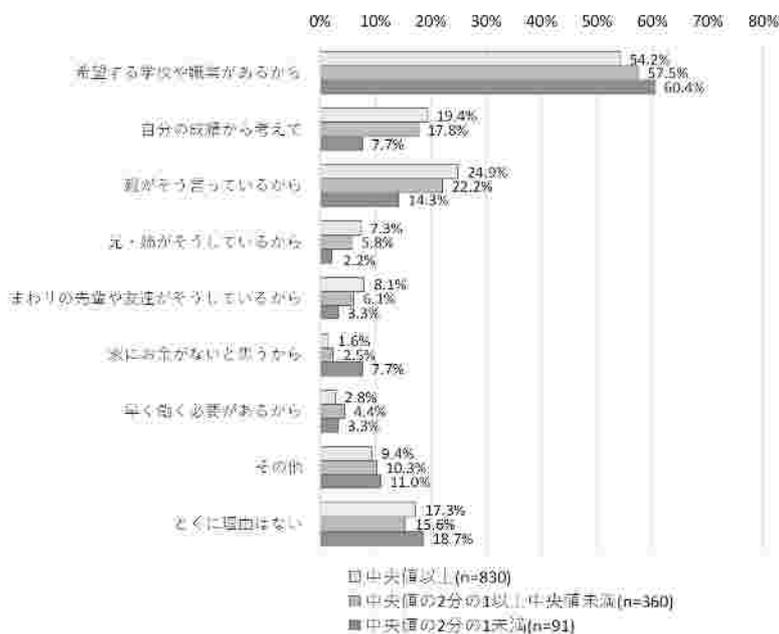


図 2-2-2-11 等価世帯収入の水準別、進学希望の教育段階について「大学またはそれ以上」と考える理由

(参考データ⁴¹) 内閣府調査「令和3年度子供の生活状況調査の分析」P.72

⁴¹ 比較する内閣府調査結果の数値が公表されていないため、当該調査の分析報告書から引用。

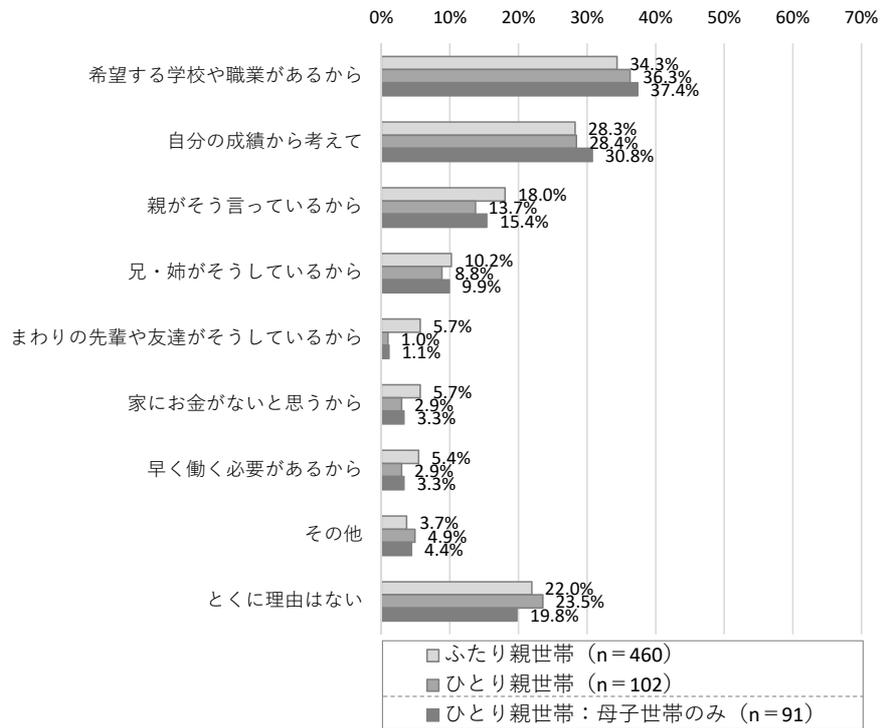
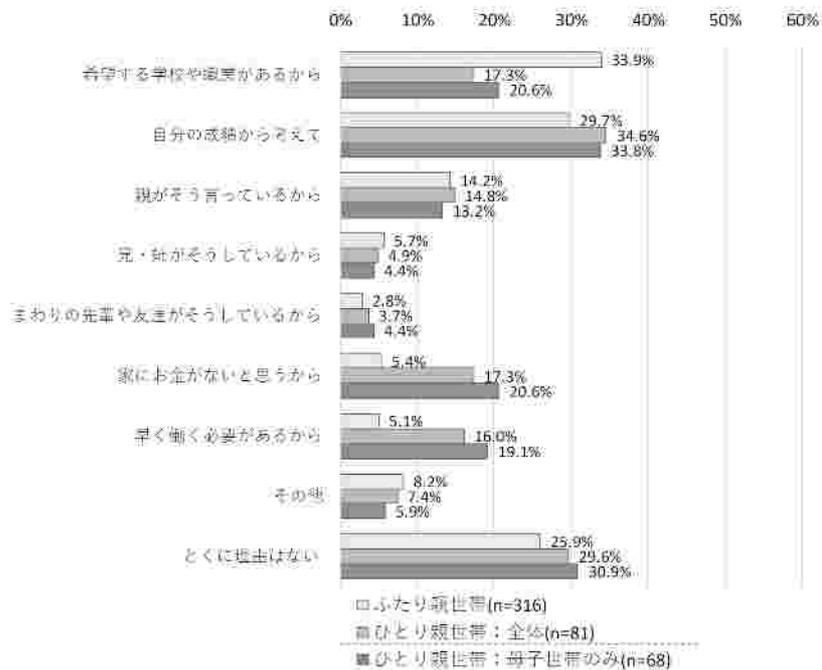


図 2-2-2-12 世帯の状況別、進学希望の教育段階について「中学、高校まで」と考える理由



12 世帯の状況別、進学希望の教育段階について「高校まで」と考える理由

(参考データ⁴²) 内閣府調査「令和3年度子供の生活状況調査の分析」P.73

⁴² 比較する内閣府調査結果の数値が公表されていないため、当該調査の分析報告書から引用。

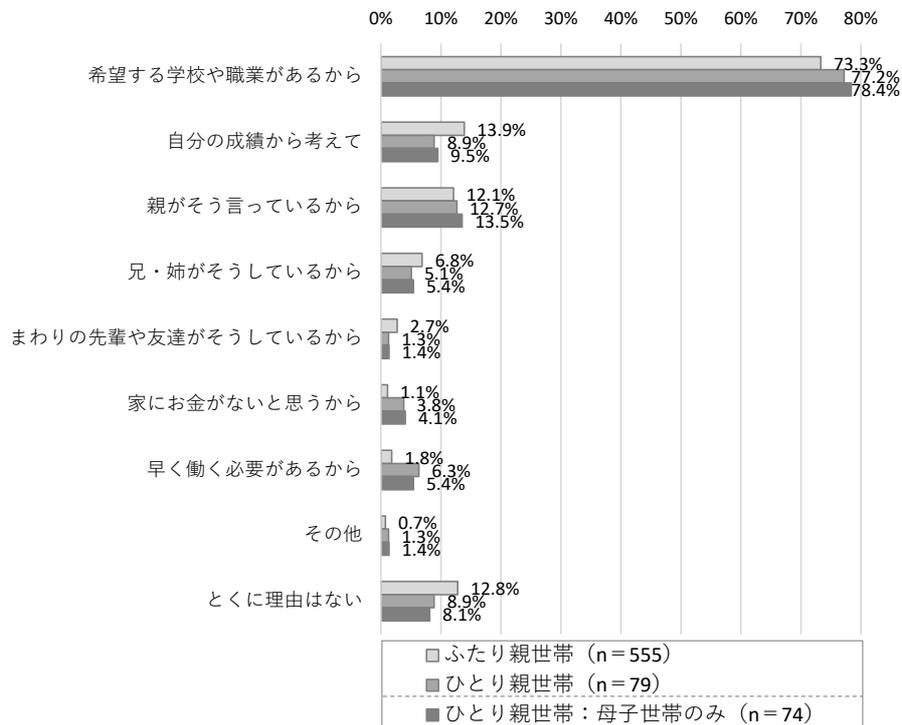


図 2-2-2-13 世帯の状況別、進学希望の教育段階について
「中学、高校、専門学校、5年制の高等専門学校、短大まで」と考える理由

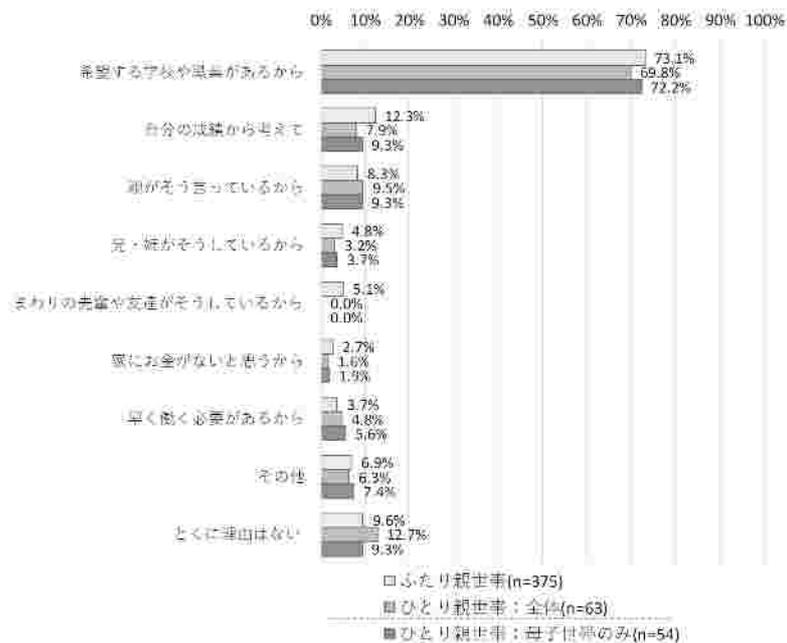


図 2-2-2-13 世帯の状況別、進学希望の教育段階について
「短大・高専・専門学校まで」と考える理由

(参考データ⁴³) 内閣府調査「令和3年度子供の生活状況調査の分析」P.73

⁴³ 比較する内閣府調査結果の数値が公表されていないため、当該調査の分析報告書から引用。

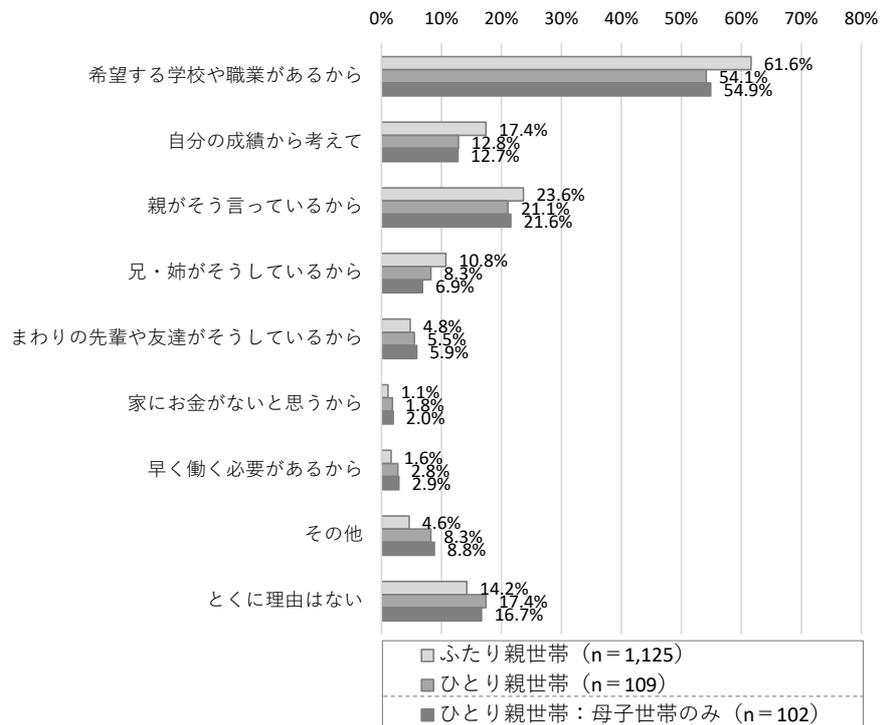


図 2-2-2-14 世帯の状況別、進学希望の教育段階について
「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院まで」と考える理由

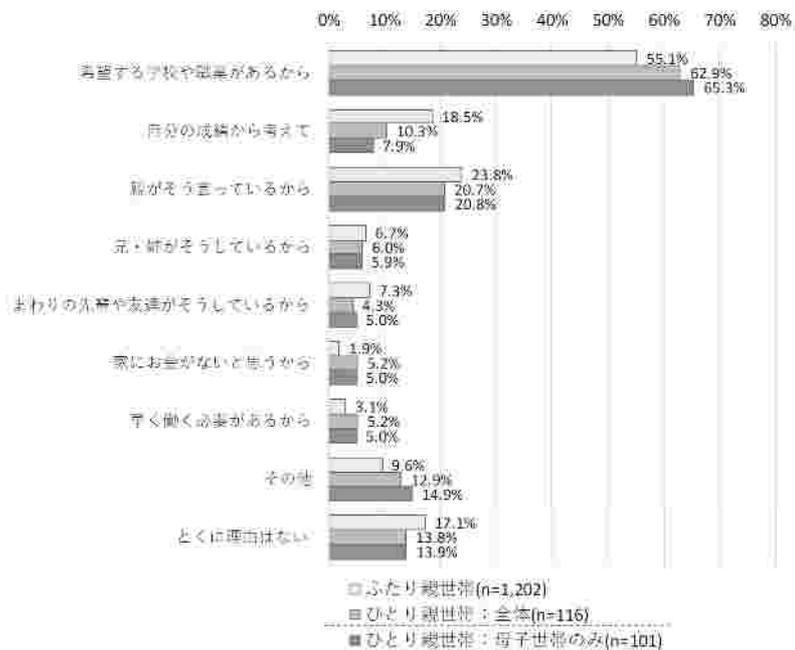


図 2-2-2-14 世帯の状況別、進学希望の教育段階について
「大学またはそれ以上」と考える理由

(参考データ⁴⁴) 内閣府調査「令和3年度子供の生活状況調査の分析」P.74

⁴⁴ 比較する内閣府調査結果の数値が公表されていないため、当該調査の分析報告書から引用。

比較表 2-2-2-2 進学希望の教育段階についてそう考える理由⁴⁵

		サンプル数	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達から	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
上段：度数 下段：%												
今回調査	全体	6,090	3,473	1,095	1,083	512	240	156	203	238	945	37
		-	57.0	18.0	17.8	8.4	3.9	2.6	3.3	3.9	15.5	0.6
内閣府調査	全体	2,200	1,185	415	406	130	126	72	91	195	375	28
		-	53.9	18.9	18.5	5.9	5.7	3.3	4.1	8.9	17.0	1.3
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,331	795	256	258	134	56	18	26	49	211
			-	59.7	19.2	19.4	10.1	4.2	1.4	2.0	3.7	15.9
		中央値の2分の1以上中央値未満	779	442	133	145	66	34	18	20	27	127
		-	56.7	17.1	18.6	8.5	4.4	2.3	2.6	3.5	16.3	
		290	154	61	58	26	10	18	17	12	40	
		-	53.1	21.0	20.0	9.0	3.4	6.2	5.9	4.1	13.8	
内閣府調査	中央値以上	1,094	614	218	226	70	77	16	32	101	180	
		-	56.1	19.9	20.7	6.4	7.0	1.5	2.9	9.2	16.5	
	中央値の2分の1以上中央値未満	745	405	143	131	36	35	27	29	61	127	
	-	54.4	19.2	17.6	4.8	4.7	3.6	3.9	8.2	17.0		
	261	120	46	33	17	8	27	26	26	57		
	-	46.0	17.6	12.6	6.5	3.1	10.3	10.0	10.0	21.8		
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,151	1,266	406	419	206	95	45	53	73	333
			-	58.9	18.9	19.5	9.6	4.4	2.1	2.5	3.4	15.5
		ひとり親世帯	291	157	51	47	22	8	9	11	15	50
		-	54.0	17.5	16.2	7.6	2.7	3.1	3.8	5.2	17.2	
		268	148	49	46	20	8	9	10	14	41	
		-	55.2	18.3	17.2	7.5	3.0	3.4	3.7	5.2	15.3	
内閣府調査	ふたり親世帯	1,898	1,045	364	363	117	116	51	68	168	324	
		-	55.1	19.2	19.1	6.2	6.1	2.7	3.6	8.9	17.1	
	ひとり親世帯	262	131	46	42	13	8	21	23	26	48	
	-	50.0	17.6	16.0	5.0	3.1	8.0	8.8	9.9	18.3		
	225	119	37	35	11	8	20	22	24	40		
	-	52.9	16.4	15.6	4.9	3.6	8.9	9.8	10.7	17.8		

⁴⁵ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

2.2.3. 部活動等への参加状況

(1) 部活動等への参加状況（中学生票 問9、SA）

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況については、「参加している」が78.9%、「参加していない」が20.9%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」の割合は、「中央値以上」の世帯では16.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では22.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では28.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」の割合は、「ふたり親世帯」では19.2%、「ひとり親世帯」では29.1%、うち「母子世帯」のみでは29.2%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「参加している」の割合は85.1%と、今回調査（78.9%）の方が6.2ポイント低くなっている。

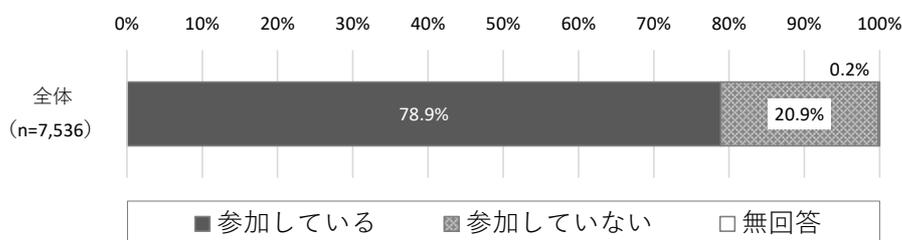


図 2-2-3-1 部活動等への参加状況

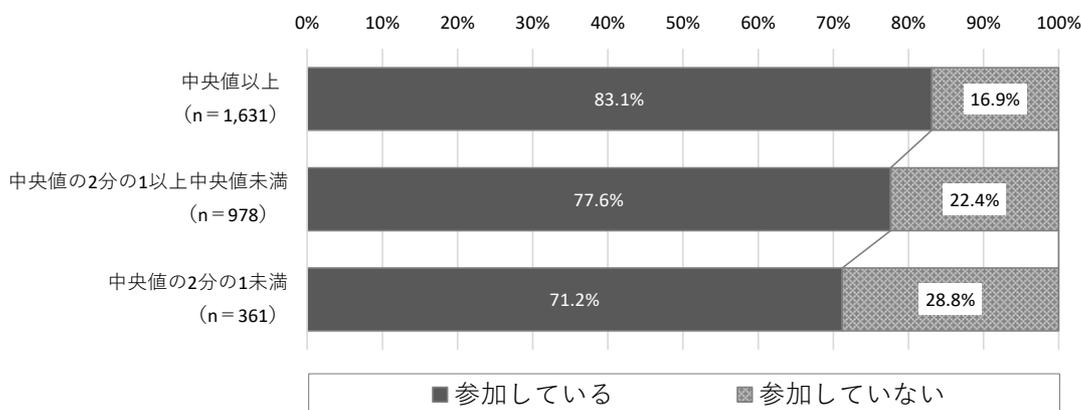


図 2-2-3-2 等価世帯収入の水準別、部活動等への参加状況

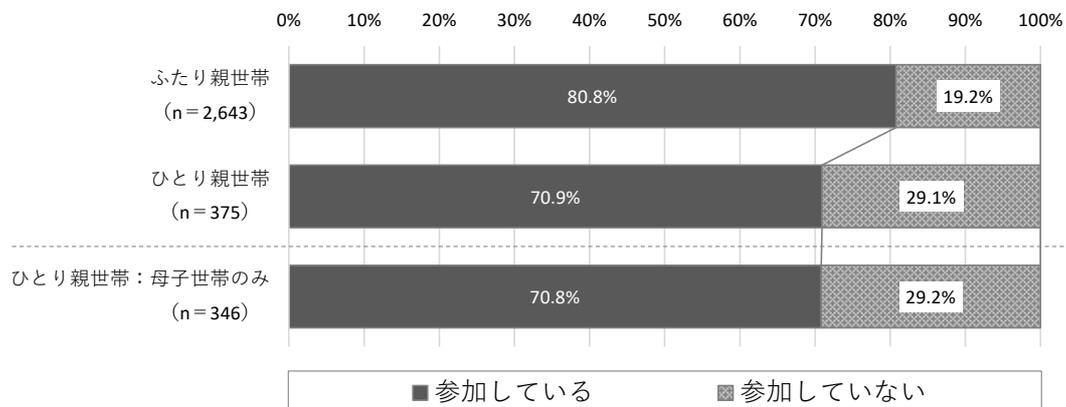


図 2-2-3-3 世帯の状況別、部活動等への参加状況

比較表 2-2-3-1 部活動等への参加状況⁴⁶

			サ ン プ ル 数	参 加 し て い る	参 加 し て い な い	無 回 答
		上段：度数 下段：%				
今回調査	全体		7,536	5,947	1,574	15
			100.0	78.9	20.9	0.2
内閣府調査	全体		2,715	2,311	396	8
			100.0	85.1	14.6	0.3
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,631	1,355	276	
			100.0	83.1	16.9	
		中央値の2分の1以上中央値未満	978	759	219	
		100.0	77.6	22.4		
	中央値の2分の1未満	361	257	104		
		100.0	71.2	28.8		
内閣府調査	中央値以上	1,315	1,152	163		
		100.0	87.6	12.4		
	中央値の2分の1以上中央値未満	964	832	132		
	100.0	86.3	13.7			
中央値の2分の1未満	336	256	80			
	100.0	76.2	23.8			
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,643	2,135	508	
			100.0	80.8	19.2	
		ひとり親世帯	375	266	109	
		100.0	70.9	29.1		
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	346	245	101		
		100.0	70.8	29.2		
内閣府調査	ふたり親世帯	2,351	2,042	309		
		100.0	86.9	13.1		
	ひとり親世帯	339	258	81		
	100.0	76.1	23.9			
ひとり親世帯：母子世帯のみ	292	226	66			
	100.0	77.4	22.6			

⁴⁶ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(2) 部活動等に参加していない理由（中学生票 問 10、MA）

部活動等に参加していない理由については、「入りたいクラブ・部活動がないから」が60.8%、「塾や習い事が忙しいから」が16.6%、「費用がかかるから」が14.2%、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」が10.5%となっている。「その他」は、「興味がない」、「人間関係」、「勉強を頑張りたい」等であった。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯で、「費用がかかるから」が17.5%、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」が16.5%と、「中央値以上」の世帯（それぞれ12.5%、8.8%）と比べて、それぞれ5ポイント、7.7ポイント高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」が15.9%で、「ふたり親世帯」（10.0%）と比べて5.9ポイント高くなっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「費用がかかるから」が9.3%、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」が4.0%であり、今回調査がそれぞれ4.9ポイント、6.5ポイント高くなっている。

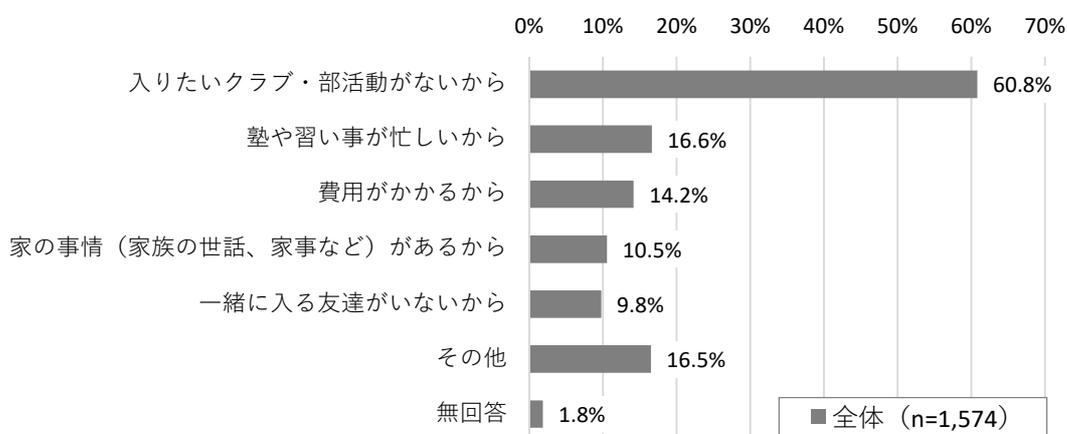


図 2-2-3-4 部活動等に参加していない理由

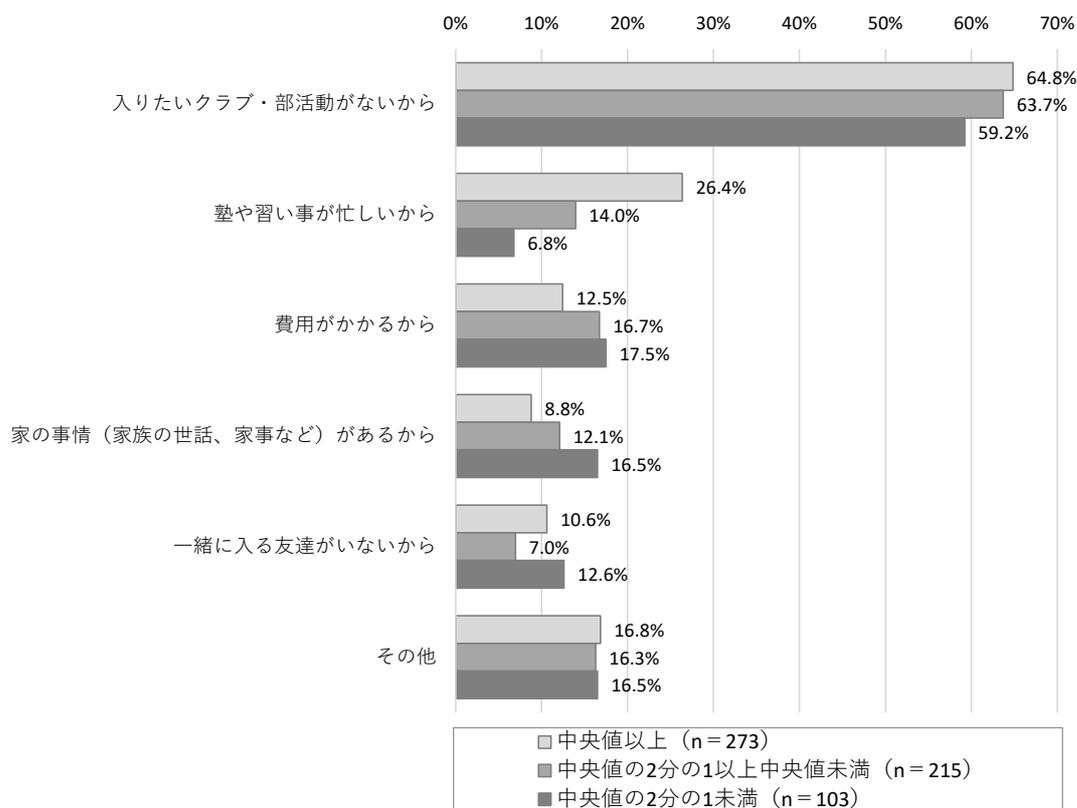


図 2-2-3-5 等価世帯輸入の水準別、部活動等に参加していない理由

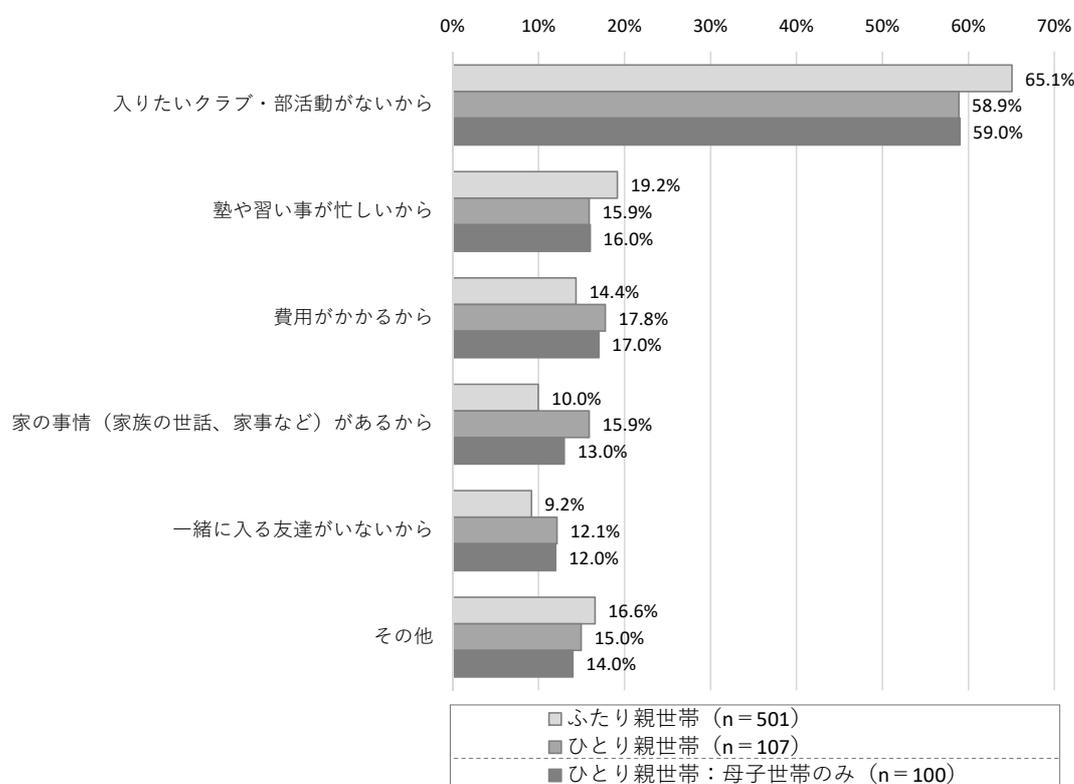


図 2-2-3-6 世帯の状況別、部活動等に参加していない理由

比較表 2-2-3-2 部活動等に参加していない理由⁴⁷

		サンプル数	入り活動がないから	塾や習い事が忙しいから	費用がかかるから	世話、家事などがあるから	家の事情（家族のいないから	一緒にいる友達がいないから	その他	無回答
上段：度数 下段：%										
今回調査	全体	1,574	957 60.8	262 16.6	223 14.2	166 10.5	154 9.8	260 16.5	29 1.8	
内閣府調査	全体	396	163 41.2	59 14.9	37 9.3	16 4.0	27 6.8	157 39.6	9 2.3	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	273 64.8	177 26.4	72 12.5	34 8.8	24 10.6	29 16.8	46 16.8	
		中央値の2分の1以上中央値未満	215 63.7	137 14.0	30 16.7	36 12.1	26 7.0	15 16.3	35 16.3	
		中央値の2分の1未満	103 59.2	61 6.8	7 17.5	18 16.5	17 12.6	13 16.5	17 16.5	
	内閣府調査	中央値以上	161 47.8	77 21.7	35 5.0	8 2.5	4 6.8	11 33.5	54 33.5	
		中央値の2分の1以上中央値未満	128 39.1	50 12.5	16 9.4	12 3.1	4 4.7	6 46.9	60 46.9	
		中央値の2分の1未満	78 39.7	31 6.4	5 19.2	15 9.0	7 9.0	7 41.0	32 41.0	
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	501 65.1	326 19.2	96 14.4	72 10.0	50 9.2	46 16.6	83 16.6	
		ひとり親世帯	107 58.9	63 15.9	17 17.8	19 15.9	17 12.1	13 15.0	16 15.0	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	100 59.0	59 16.0	16 17.0	17 13.0	13 12.0	12 14.0	14 14.0	
	内閣府調査	ふたり親世帯	303 43.2	131 18.2	55 7.3	22 3.0	9 7.3	22 39.3	119 39.3	
		ひとり親世帯	79 38.0	30 3.8	3 17.7	14 7.6	6 6.3	5 46.8	37 46.8	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	64 40.6	26 4.7	3 20.3	13 9.4	6 7.8	5 40.6	26 40.6	

⁴⁷ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

2.2.4. 日常的な生活の状況

(1) 食事の状況（中学生票 問 11、SA）

食事の状況について、「朝食」については、「毎日食べる（週7日）」が81.8%、「週5～6日」が10.6%、「週3～4日」が3.0%、「週1～2日、ほとんど食べない」が4.4%となっている。

「夕食」については、「毎日食べる（週7日）」が95.6%、「週5～6日」が3.3%、「週3～4日」が0.6%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.3%となっている。

「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」については、「毎日食べる（週7日）」が81.7%、「週5～6日」が12.0%、「週3～4日」が4.3%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「毎日食べる（週7日）」の割合が、「朝食」について79.5%、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について80.5%と、「中央値以上」の世帯と比べて、それぞれ7.6ポイント、6.6ポイント低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「毎日食べる（週7日）」の割合が、「朝食」について78.7%、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について78.9%と、「ふたり親世帯」と比べて、それぞれ6.7ポイント、6.4ポイント低くなっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、「朝食」と「夕食」については、「毎日食べる（週7日）」の割合に大きな差は見られないが、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について、内閣府調査の全体で「毎日食べる（週7日）」が89.1%と、今回調査（81.7%）の方が7.4ポイント低くなっている。

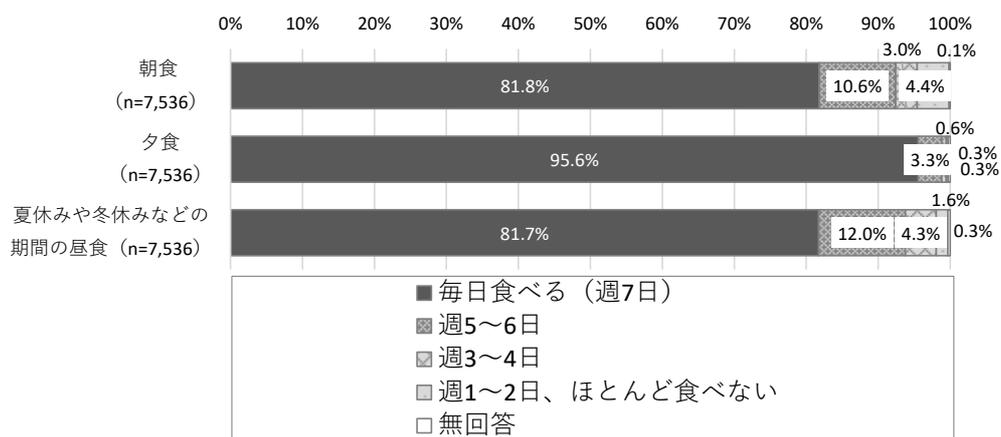


図 2-2-4-1 食事の状況

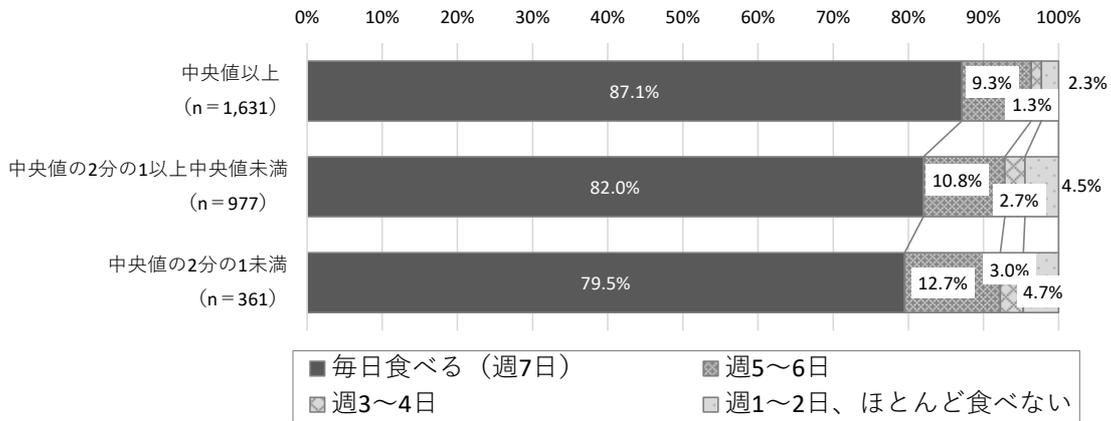


図 2-2-4-2 等価世帯収入の水準別、食事の状況 (朝食)

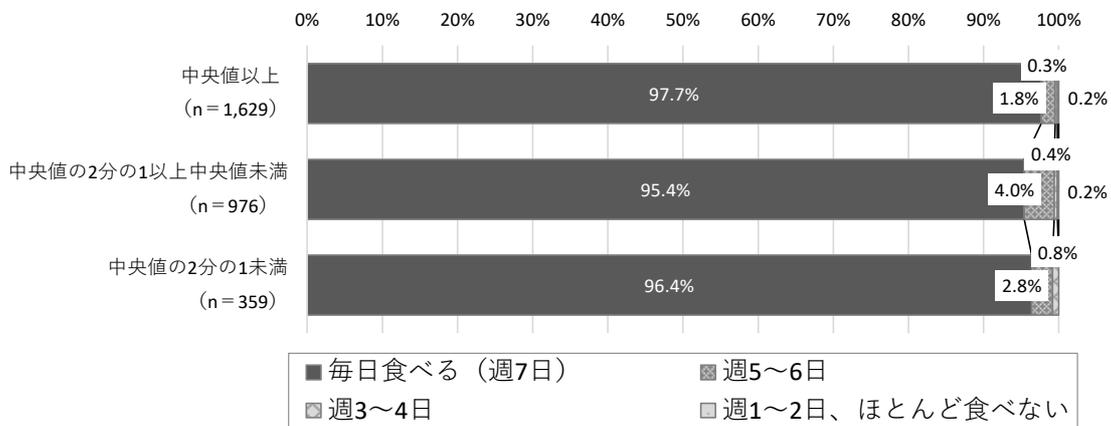


図 2-2-4-3 等価世帯収入の水準別、食事の状況 (夕食)

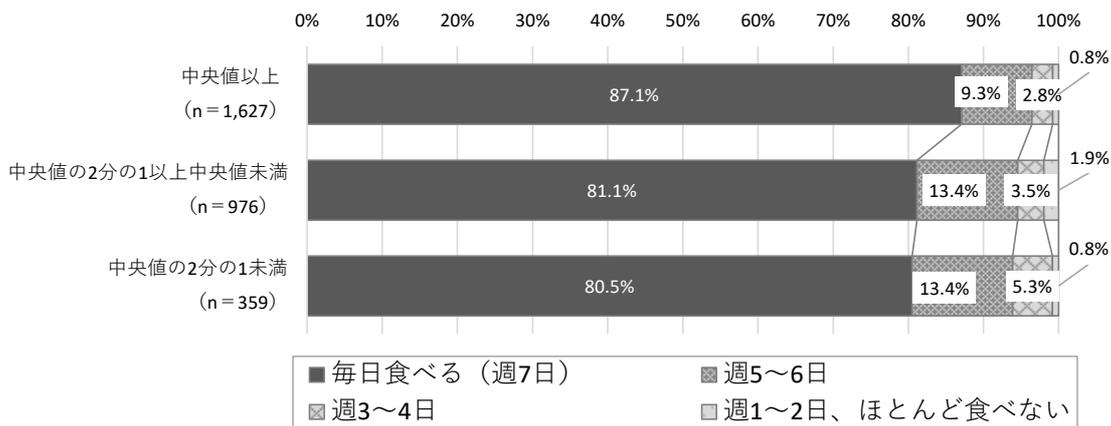


図 2-2-4-4 等価世帯収入の水準別、食事の状況 (夏休みや冬休みなどの期間の昼食)

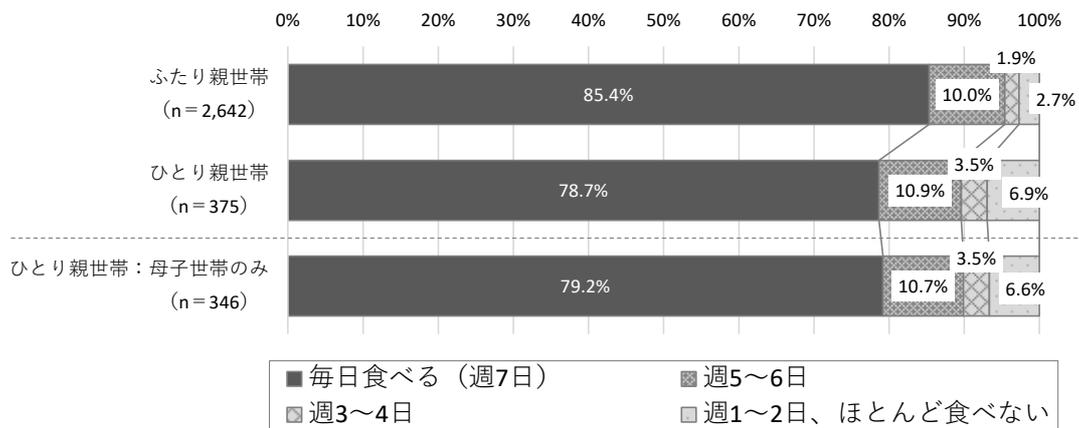


図 2-2-4-5 世帯の状況別、食事の状況 (朝食)

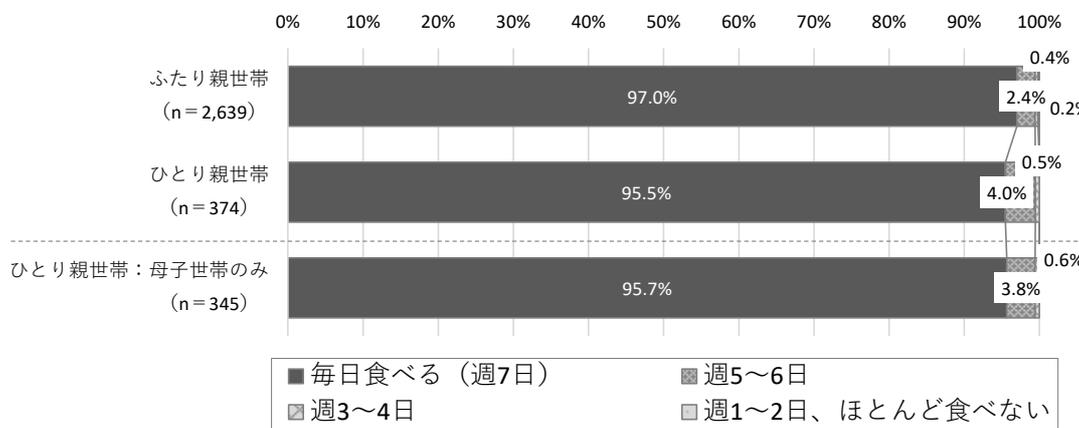


図 2-2-4-6 世帯の状況別、食事の状況 (昼食)

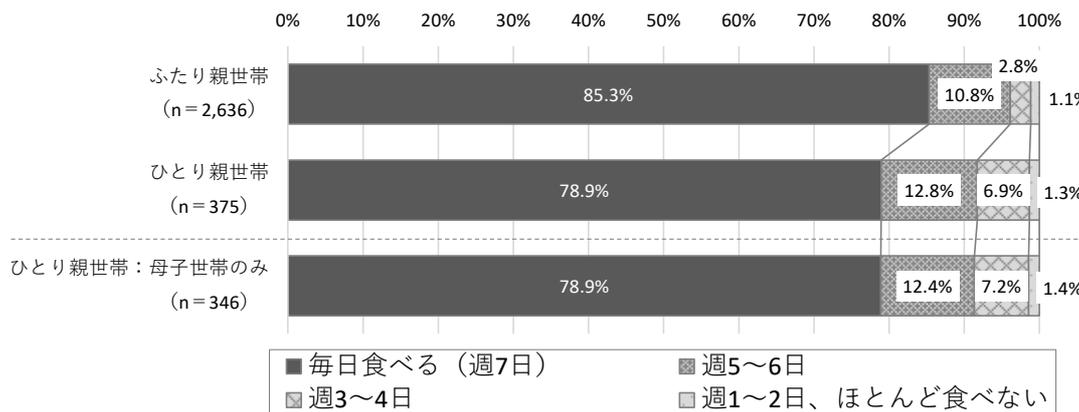


図 2-2-4-7 世帯の状況別、食事の状況 (夏休みや冬休みなどの期間の昼食)

比較表 2-2-4-1 食事の状況（朝食）⁴⁸

		サ ン プ ル 数	(毎 週 7 日 食 べ る)	週 5 日	週 3 日 4 日	週 1 日 2 日 、 食 べ な い ほ ん ど	無 回 答
上段：度数 下段：%							
今回調査	全体	7,536 100.0	6,164 81.8	801 10.6	226 3.0	335 4.4	10 0.1
内閣府調査	全体	2,715 100.0	2,227 82.0	280 10.3	76 2.8	125 4.6	7 0.3
等 価 世 帯 収 入 の 水 準 別	今 回 調 査	中央値以上	1,631 100.0	1,421 87.1	151 9.3	22 1.3	37 2.3
		中央値の2分の1以上中央値未満	977 100.0	801 82.0	106 10.8	26 2.7	44 4.5
		中央値の2分の1未満	361 100.0	287 79.5	46 12.7	11 3.0	17 4.7
	内 閣 府 調 査	中央値以上	1,315 100.0	1,137 86.5	107 8.1	21 1.6	50 3.8
		中央値の2分の1以上中央値未満	964 100.0	776 80.5	118 12.2	30 3.1	40 4.1
		中央値の2分の1未満	337 100.0	240 71.2	46 13.6	22 6.5	29 8.6
世 帯 の 状 況 別	今 回 調 査	ふたり親世帯	2,642 100.0	2,255 85.4	265 10.0	50 1.9	72 2.7
		ひとり親世帯	375 100.0	295 78.7	41 10.9	13 3.5	26 6.9
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	346 100.0	274 79.2	37 10.7	12 3.5	23 6.6
	内 閣 府 調 査	ふたり親世帯	2,352 100.0	1,974 83.9	230 9.8	58 2.5	90 3.8
		ひとり親世帯	339 100.0	238 70.2	49 14.5	18 5.3	34 10.0
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	292 100.0	208 71.2	39 13.4	16 5.5	29 9.9

⁴⁸ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

比較表 2-2-4-2 食事の状況（昼食）⁴⁹

		サ ン プ ル 数	(毎 週 7 日 食 べ る)	週 5 日 食 べ る	週 3 日 食 べ る	週 1 日 食 べ ない	無 回 答
上段：度数 下段：%							
今回調査	全体	7,536 100.0	7,203 95.6	245 3.3	46 0.6	20 0.3	22 0.3
内閣府調査	全体	2,715 100.0	2,658 97.9	38 1.4	8 0.3	1 0.0	10 0.4
等 価 世 帯 収 入 の 水 準 別	今 回 調 査	中央値以上	1,629 100.0	1,591 97.7	30 1.8	5 0.3	3 0.2
		中央値の2分の1以上中央値未満	976 100.0	931 95.4	39 4.0	4 0.4	2 0.2
		中央値の2分の1未満	359 100.0	346 96.4	10 2.8	3 0.8	0 0.0
	内 閣 府 調 査	中央値以上	1,313 100.0	1,294 98.6	15 1.1	4 0.3	0 0.0
		中央値の2分の1以上中央値未満	964 100.0	946 98.1	13 1.3	4 0.4	1 0.1
		中央値の2分の1未満	336 100.0	327 97.3	9 2.7	0 0.0	0 0.0
世 帯 の 状 況 別	今 回 調 査	ふたり親世帯	2,639 100.0	2,560 97.0	64 2.4	10 0.4	5 0.2
		ひとり親世帯	374 100.0	357 95.5	15 4.0	2 0.5	0 0.0
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	345 100.0	330 95.7	13 3.8	2 0.6	0 0.0
	内 閣 府 調 査	ふたり親世帯	2,349 100.0	2,311 98.4	31 1.3	7 0.3	0 0.0
		ひとり親世帯	339 100.0	330 97.3	7 2.1	1 0.3	1 0.3
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	292 100.0	283 96.9	7 2.4	1 0.3	1 0.3

⁴⁹ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

比較表 2-2-4-3 食事の状況（夏休みや冬休みなどの期間の昼食）⁵⁰

		サ ン プ ル 数	(毎 週 7 日 食 べ る)	週 5 日	週 3 日 4 日	週 1 日 2 日 、 食 べ な い	無 回 答
上段：度数 下段：%							
今回調査	全体	7,536 100.0	6,160 81.7	907 12.0	323 4.3	121 1.6	25 0.3
内閣府調査	全体	2,715 100.0	2,420 89.1	194 7.1	73 2.7	15 0.6	13 0.5
等 価 世 帯 収 入 の 水 準 別	今 回 調 査	中央値以上	1,627 100.0	1,417 87.1	152 9.3	45 2.8	13 0.8
		中央値の2分の1以上中央値未満	976 100.0	792 81.1	131 13.4	34 3.5	19 1.9
		中央値の2分の1未満	359 100.0	289 80.5	48 13.4	19 5.3	3 0.8
	内 閣 府 調 査	中央値以上	1,313 100.0	1,203 91.6	78 5.9	29 2.2	3 0.2
		中央値の2分の1以上中央値未満	962 100.0	860 89.4	68 7.1	27 2.8	7 0.7
		中央値の2分の1未満	335 100.0	276 82.4	40 11.9	15 4.5	4 1.2
世 帯 の 状 況 別	今 回 調 査	ふたり親世帯	2,636 100.0	2,249 85.3	284 10.8	73 2.8	30 1.1
		ひとり親世帯	375 100.0	296 78.9	48 12.8	26 6.9	5 1.3
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	346 100.0	273 78.9	43 12.4	25 7.2	5 1.4
	内 閣 府 調 査	ふたり親世帯	2,346 100.0	2,122 90.5	157 6.7	54 2.3	13 0.6
		ひとり親世帯	339 100.0	282 83.2	36 10.6	19 5.6	2 0.6
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	292 100.0	243 83.2	31 10.6	17 5.8	1 0.3

⁵⁰ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(2) 就寝時刻 (中学生票 問 12、SA)

就寝時刻については、ほぼ同じ時間に寝ているかについては、「そうである」が 34.0%、「どちらかといえばそうである」が 45.4%、「どちらかといえばそうではない」が 14.4%、「そうではない」が 6.1%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「どちらかといえばそうではない」が 14.1%と、他の世帯に比べてやや高くなっているものの、世帯による大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「どちらかといえばそうではない」の割合が 16.3%と「ふたり親世帯」(12.0%)と比べて 4.3 ポイント高くなっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体と大きな違いは見られない。

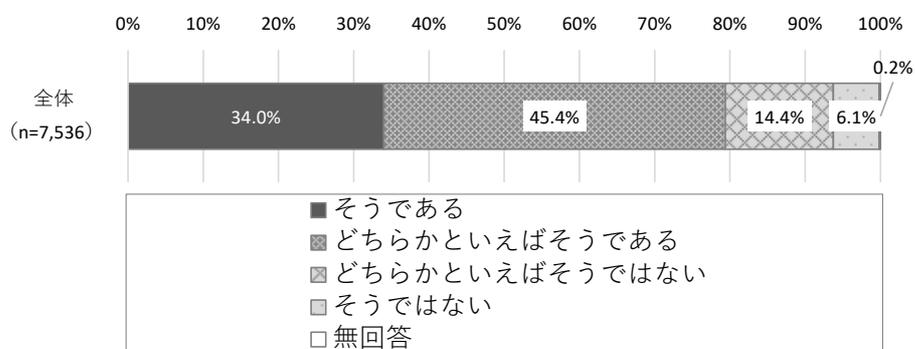


図 2-2-4-8 就寝時刻

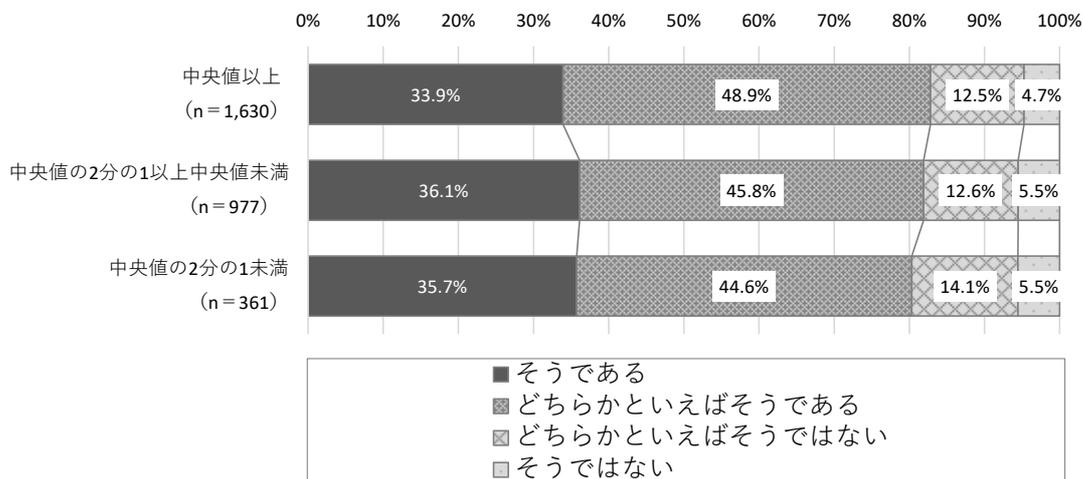


図 2-2-4-9 等価世帯収入の水準別、就寝時刻

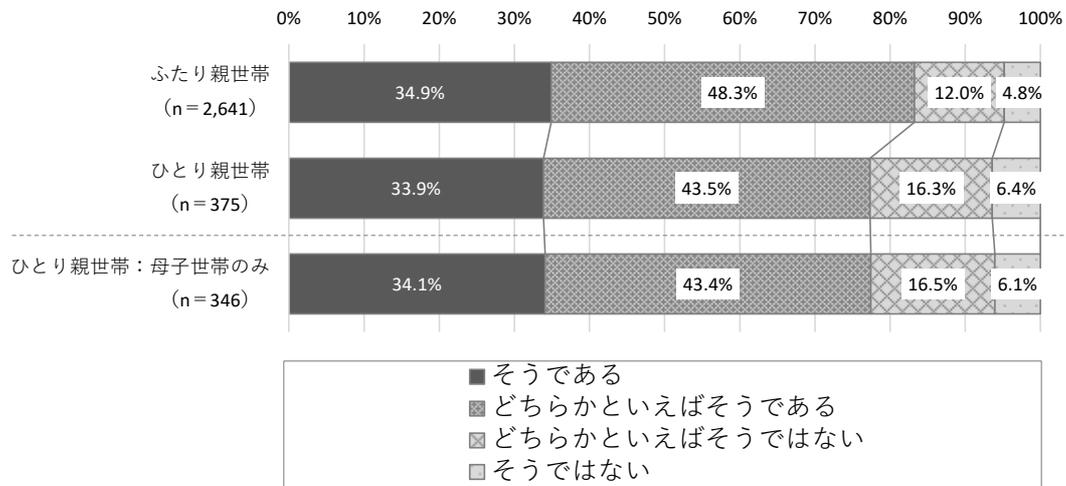


図 2-2-4-10 世帯の状況別、就寝時刻

比較表 2-2-4-4 就寝時刻⁵¹

上段：度数 下段：%		サンプル数	そうである	どちらかといえばそうである	どちらかといえばそうではない	そうではない	無回答	
今回調査	全体	7,536 100.0	2,562 34.0	3,420 45.4	1,082 14.4	458 6.1	14 0.2	
内閣府調査	全体	2,715 100.0	920 33.9	1,308 48.2	338 12.4	132 4.9	17 0.6	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,630 100.0	553 33.9	797 48.9	203 12.5	77 4.7	
		中央値の2分の1以上中央値未満	977 100.0	353 36.1	447 45.8	123 12.6	54 5.5	
		中央値の2分の1未満	361 100.0	129 35.7	161 44.6	51 14.1	20 5.5	
	内閣府調査	中央値以上	1,312 100.0	479 36.5	659 50.2	124 9.5	50 3.8	
		中央値の2分の1以上中央値未満	959 100.0	322 33.6	436 45.5	145 15.1	56 5.8	
		中央値の2分の1未満	336 100.0	86 25.6	175 52.1	53 15.8	22 6.5	
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,641 100.0	922 34.9	1,276 48.3	316 12.0	127 4.8	
		ひとり親世帯	375 100.0	127 33.9	163 43.5	61 16.3	24 6.4	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	346 100.0	118 34.1	150 43.4	57 16.5	21 6.1	
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,342 100.0	816 34.8	1,141 48.7	282 12.0	103 4.4	
		ひとり親世帯	339 100.0	98 28.9	159 46.9	54 15.9	28 8.3	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	292 100.0	89 30.5	135 46.2	45 15.4	23 7.9	

⁵¹ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(3) 相談できると思う相手（中学生票 問13、MA）

困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人については、「親」が71.3%、「学校の友達」が68.6%、「きょうだい」が24.0%、「学校の先生」が21.0%となっている。「だれにも相談できない、相談したくない」との回答はなかった。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「ネットで知り合った人」の割合が6.4%と、「中央値以上」の世帯（3.4%）に比べて3ポイント高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「ネットで知り合った人」の割合が6.1%と、「ふたり親世帯」（3.9%）に比べて、2.2ポイント高くなっている。

内閣府調査では「誰にも相談できない、相談したくない」の回答は8.9%であったのに対し、本県は0であった。

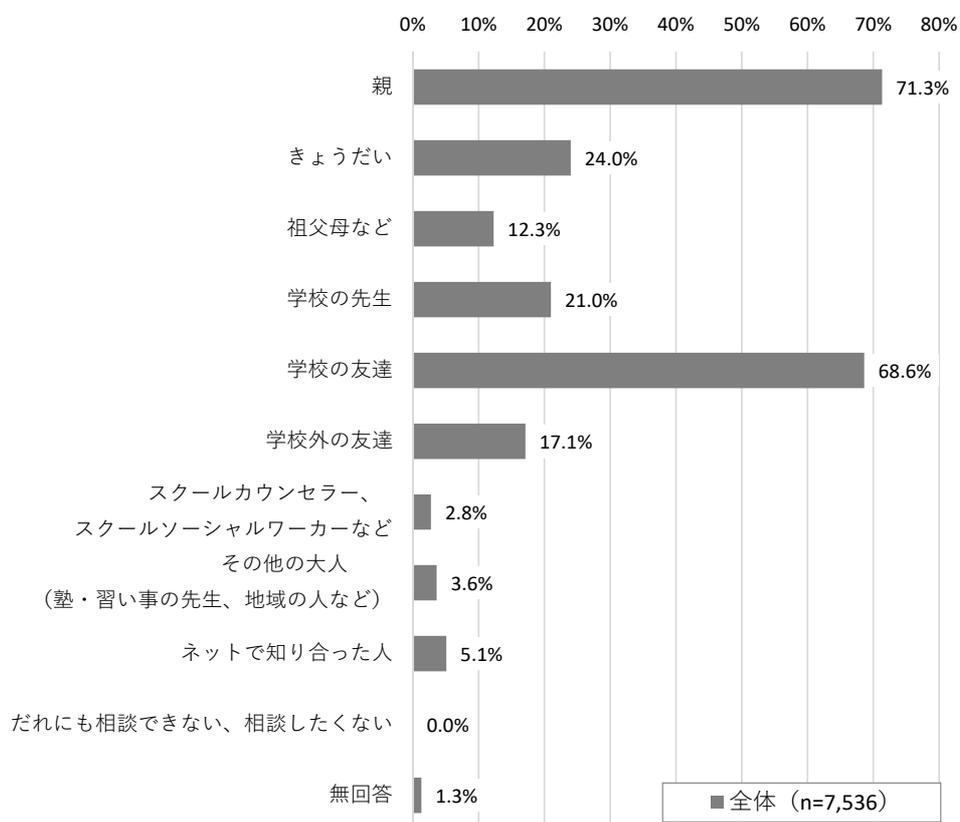


図 2-2-4-11 相談できると思う相手

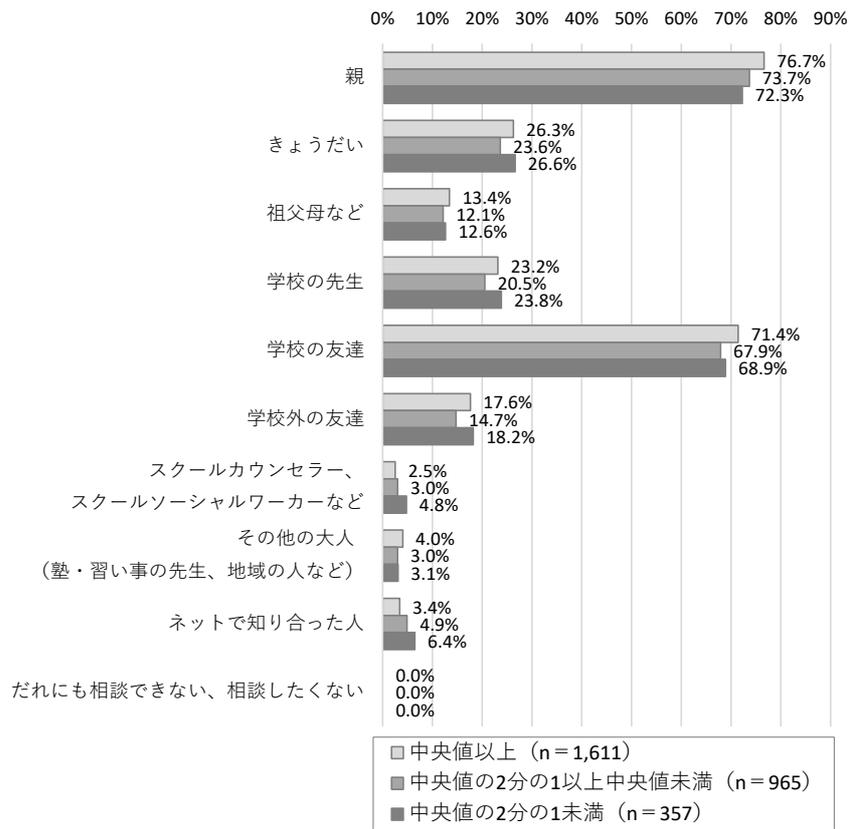


図 2-2-4-12 等価世帯収入の水準別、相談できると思う相手

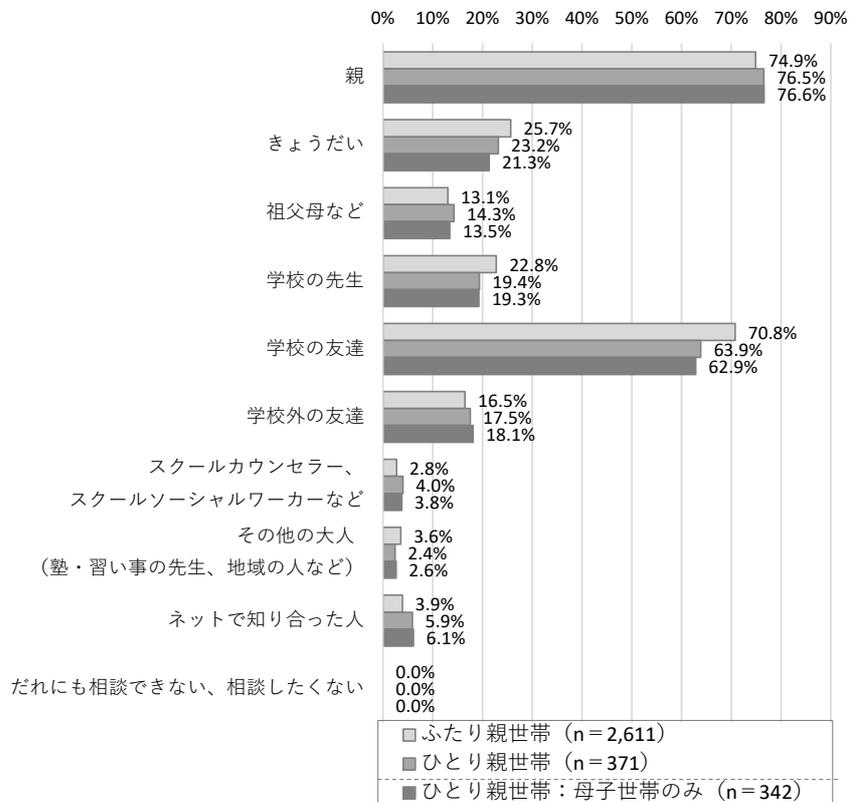


図 2-2-4-13 世帯の状況別、相談できると思う相手

比較表 2-2-4-5 相談できると思う相手⁵²

		サンプル数	親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	学校の友達	学校外の友達	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など）	ネットで知り合った人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
上段：度数 下段：%													
今回調査	全体	7,536	5,376	1,809	926	1,581	5,173	1,290	210	275	385	0	98
		-	71.3	24.0	12.3	21.0	68.6	17.1	2.8	3.6	5.1	0.0	1.3
内閣府調査	全体	2,715	1,768	571	315	635	1,827	377	111	184	136	241	27
		-	65.1	21.0	11.6	23.4	67.3	13.9	4.1	6.8	5.0	8.9	1.0
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,611	1,235	423	216	373	1,151	284	40	65	55	0
			-	76.7	26.3	13.4	23.2	71.4	17.6	2.5	4.0	3.4	0.0
		中央値の2分の1以上中央値未満	965	711	228	117	198	655	142	29	29	47	0
		-	73.7	23.6	12.1	20.5	67.9	14.7	3.0	3.0	4.9	0.0	
		357	258	95	45	85	246	65	17	11	23	0	
		-	72.3	26.6	12.6	23.8	68.9	18.2	4.8	3.1	6.4	0.0	
内閣府調査	中央値以上	1,307	896	287	164	309	932	197	47	97	56	91	
		-	68.6	22.0	12.5	23.6	71.3	15.1	3.6	7.4	4.3	7.0	
	中央値の2分の1以上中央値未満	955	603	191	103	225	626	130	36	59	52	101	
	-	63.1	20.0	10.8	23.6	65.5	13.6	3.8	6.2	5.4	10.6		
	335	215	71	35	76	209	38	17	21	25	43		
	-	64.2	21.2	10.4	22.7	62.4	11.3	5.1	6.3	7.5	12.8		
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,611	1,956	670	341	595	1,848	431	72	94	102	0
			-	74.9	25.7	13.1	22.8	70.8	16.5	2.8	3.6	3.9	0.0
		ひとり親世帯	371	284	86	53	72	237	65	15	9	22	0
		-	76.5	23.2	14.3	19.4	63.9	17.5	4.0	2.4	5.9	0.0	
		342	262	73	46	66	215	62	13	9	21	0	
		-	76.6	21.3	13.5	19.3	62.9	18.1	3.8	2.6	6.1	0.0	
内閣府調査	ふたり親世帯	2,333	1,555	502	266	567	1,608	330	98	167	108	187	
		-	66.7	21.5	11.4	24.3	68.9	14.1	4.2	7.2	4.6	8.0	
	ひとり親世帯	338	205	65	45	61	207	44	11	15	27	52	
	-	60.7	19.2	13.3	18.0	61.2	13.0	3.3	4.4	8.0	15.4		
	292	181	56	35	50	180	37	8	14	23	44		
	-	62.0	19.2	12.0	17.1	61.6	12.7	2.7	4.8	7.9	15.1		

⁵² 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(4) 生活満足度（中学生票 問 14、SA）

最近の生活の満足度については、保護者と同様、「0. まったく満足していない」から「10. 十分に満足している」の11段階で回答を得たものを、「0～2」を「まったく満足していない」、「3～4」を「満足していない」、「5」を「ふつう」、「6～7」を「満足している」、「8～10」を「とても満足している」として、5つの分類に再分類し集計した。

「0～2」に該当する割合が4.8%、「3～4」に該当する割合が10.2%、「5」に該当する割合が13.4%、「6～7」に該当する割合が24.1%、「8～10」に該当する割合が46.1%となっている。満足度の高い方の回答（6～10）割合は70.2%となっている。子どもの生活満足度は、保護者の満足度の高い方の回答（6～10）割合（62.6%）に比べて、7.6ポイント高くなっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「6～10」に該当する割合は69.4%で、「中央値以上」の世帯（74.7%）に比べて5.3ポイント低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「6～10」に該当する割合は70.4%で、「ふたり親世帯」（74.0%）と比べて3.6ポイント低くなっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体と大きな違いは見られない。

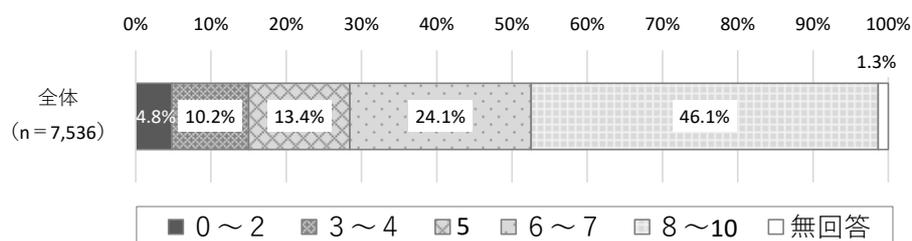


図 2-2-4-14 生活満足度（子ども）

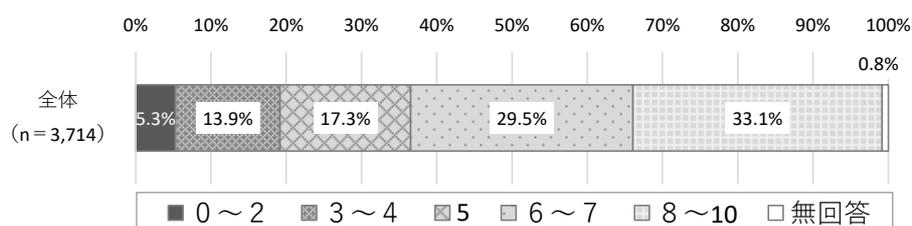


図 2-1-1-35 生活満足度（保護者：再掲）

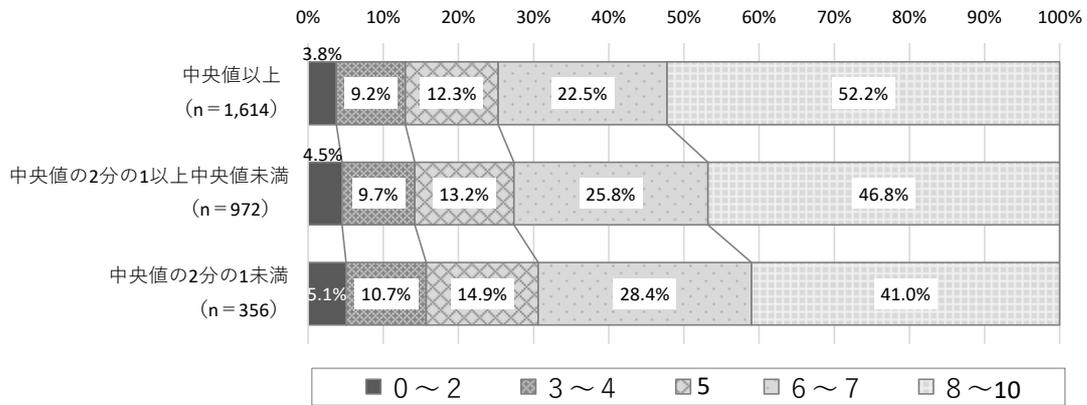


図 2-2-4-15 等価世帯収入の水準別、生活満足度（子ども）

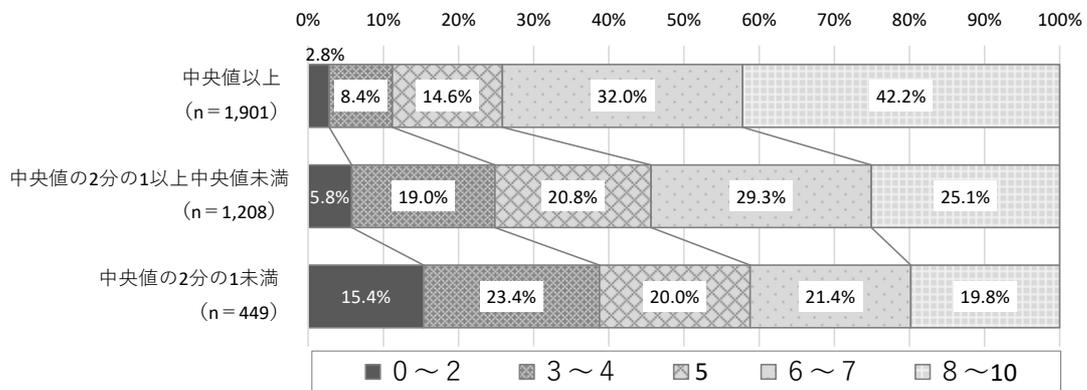


図 2-1-1-36 等価世帯収入の水準別、生活満足度（保護者：再掲）

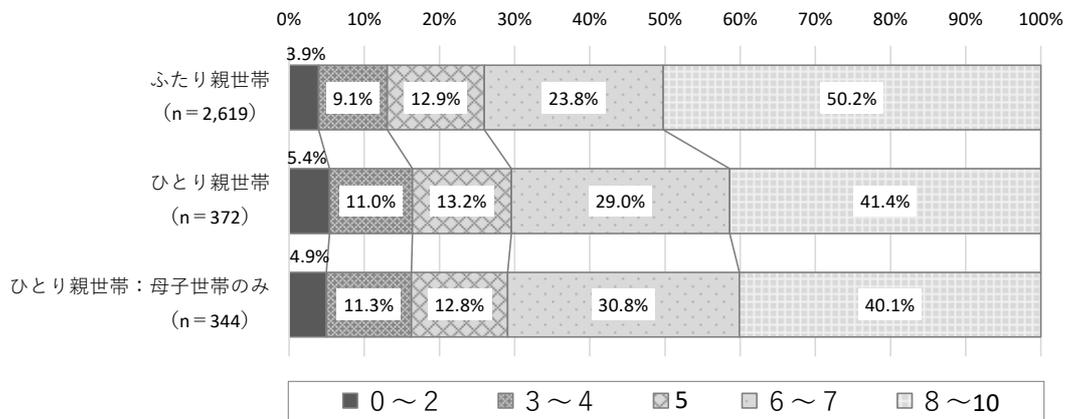


図 2-2-4-16 世帯の状況別、生活満足度（子ども）

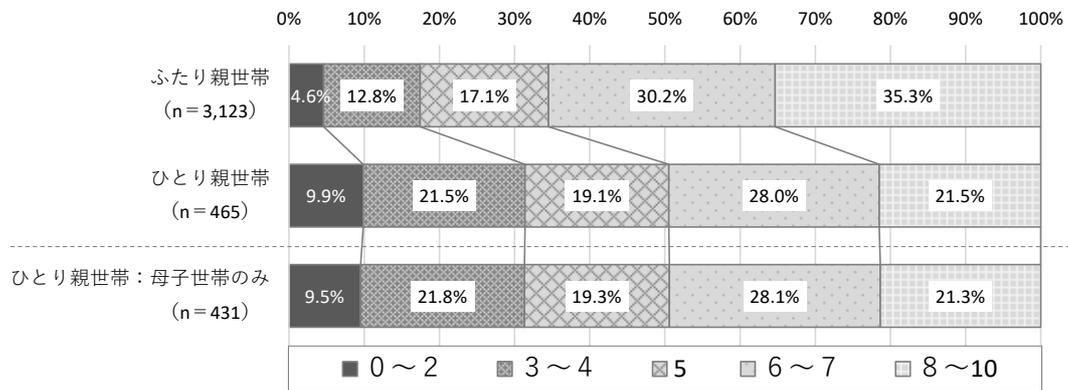


図 2-1-1-37 世帯の状況別、生活満足度（保護者：再掲）

比較表 2-2-4-6 生活満足度（子ども）⁵³

		サンプル数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答	
上段：度数 下段：%															
今回調査	全体	7,536	98	90	172	304	468	1,011	637	1,180	1,457	856	1,162	101	
		100.0	1.3	1.2	2.3	4.0	6.2	13.4	8.5	15.7	19.3	11.4	15.4	1.3	
	全体（再分類）	7,536	360			772			1,011		1,817		3,475		101
		100.0	4.8			10.2			13.4		24.1		46.1		1.3
内閣府調査	全体	2,715	35	35	60	122	166	351	251	386	574	299	405	31	
		100.0	1.3	1.3	2.2	4.5	6.1	12.9	9.2	14.2	21.1	11.0	14.9	1.1	
	全体（再分類）	2,715	130			288			351		637		1,278		31
		100.0	4.8			10.6			12.9		23.5		47.1		1.1
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,614	13	13	35	56	92	199	118	245	363	219	261	
			100.0	0.8	0.8	2.2	3.5	5.7	12.3	7.3	15.2	22.5	13.6	16.2	
		(再分類)	1,614	61			148			199		363		843	
			100.0	3.8			9.2			12.3		22.5		52.2	
		中央値の2分の1以上中央値未満	972	13	10	21	39	55	128	81	170	199	107	149	
			100.0	1.3	1.0	2.2	4.0	5.7	13.2	8.3	17.5	20.5	11.0	15.3	
	内閣府調査	(再分類)	972	44			94			128		251		455	
			100.0	4.5			9.7			13.2		25.8		46.8	
		中央値の2分の1未満	356	4	0	14	14	24	53	38	63	61	32	53	
			100.0	1.1	0.0	3.9	3.9	6.7	14.9	10.7	17.7	17.1	9.0	14.9	
		(再分類)	356	18			38			53		101		146	
			100.0	5.1			10.7			14.9		28.4		41.0	
内閣府調査	中央値以上	1,307	16	18	21	53	72	132	114	188	308	162	223		
		100.0	1.2	1.4	1.6	4.1	5.5	10.1	8.7	14.4	23.6	12.4	17.1		
	(再分類)	1,307	55			125			132		302		693		
		100.0	4.2			9.6			10.1		23.1		53.0		
	中央値の2分の1以上中央値未満	953	13	12	32	38	58	149	93	134	194	104	126		
		100.0	1.4	1.3	3.4	4.0	6.1	15.6	9.8	14.1	20.4	10.9	13.2		
内閣府調査	(再分類)	953	57			96			149		227		424		
		100.0	6.0			10.1			15.6		23.8		44.5		
	中央値の2分の1未満	334	5	2	7	24	30	54	32	54	55	24	47		
		100.0	1.5	0.6	2.1	7.2	9.0	16.2	9.6	16.2	16.5	7.2	14.1		
	(再分類)	334	14			54			54		86		126		
		100.0	4.2			16.2			16.2		25.7		37.7		
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,619	24	22	57	92	147	338	200	423	569	339	408	
			100.0	0.9	0.8	2.2	3.5	5.6	12.9	7.6	16.2	21.7	12.9	15.6	
		(再分類)	2,619	103			239			338		623		1,316	
			100.0	3.9			9.1			12.9		23.8		50.2	
		ひとり親世帯	372	5	2	13	18	23	49	42	66	67	24	63	
			100.0	1.3	0.5	3.5	4.8	6.2	13.2	11.3	17.7	18.0	6.5	16.9	
	内閣府調査	(再分類)	372	20			41			49		108		154	
			100.0	5.4			11.0			13.2		29.0		41.4	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	344	5	2	10	17	22	44	42	64	59	21	58	
			100.0	1.5	0.6	2.9	4.9	6.4	12.8	12.2	18.6	17.2	6.1	16.9	
		(再分類)	344	17			39			44		106		138	
			100.0	4.9			11.3			12.8		30.8		40.1	
内閣府調査	ふたり親世帯	2,331	25	30	48	105	145	294	212	331	519	264	358		
		100.0	1.1	1.3	2.1	4.5	6.2	12.6	9.1	14.2	22.3	11.3	15.4		
	(再分類)	2,331	103			250			294		543		1,141		
		100.0	4.4			10.7			12.6		23.3		48.9		
	ひとり親世帯	336	10	5	12	15	21	55	36	52	52	33	45		
		100.0	3.0	1.5	3.6	4.5	6.3	16.4	10.7	15.5	15.5	9.8	13.4		
内閣府調査	(再分類)	336	27			36			55		88		130		
		100.0	8.0			10.7			16.4		26.2		38.7		
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	290	9	4	12	15	15	45	30	48	43	28	41		
		100.0	3.1	1.4	4.1	5.2	5.2	15.5	10.3	16.6	14.8	9.7	14.1		
	(再分類)	290	25			30			45		78		112		
		100.0	8.6			10.3			15.5		26.9		38.6		

⁵³ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

2.2.5. 子どもの心理的な状態

「子どもの心理的な状態」に関して、調査では「強さと困難さアンケート (SDQ: Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、内閣府調査と同様、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための項目を設定⁵⁴した。

表 2-2-5 該当項目一覧表

	(1) 情緒	(2) 仲間関係	(3) 向社会性
a) 私は、他人に対して親切にしようとしている。 私は、他人の気持ちをよく考える。			○
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	○		
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う (食べ物・ゲーム・ペンなど)。			○
d) 私は、たいいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。		○	
e) 私は、心配事が多く、いつも不安だ。	○		
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。			○
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。		○	
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	○		
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。		○	
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	○		
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。			○
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。		○	
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする (親・先生・他の子供たちなど)。			○
n) 私は、他の子供たちより、大人といる方がうまくいく。		○	
o) 私は、こわがりやで、すぐにおびえたりする。	○		

⁵⁴ 「強さと困難さアンケート (SDQ: Strengths and Difficulties Questionnaire)」は、簡便なスクリーニング式質問票で、適応と精神的健康の状態を包括的に評価できることから、世界中の多くの国々で使用されている。採点方法は、ひとつの質問ごとに0点 (あてはまらない) から2点 (あてはまる) を振り、下位尺度ごとに各0点から10点で合計を計算した。点数が高いほど、問題性が高いと考えられる。

参考: SDQ 子どもの強さと困難さアンケート (<https://ddclinic.jp/SDQ/index.html>)

(1) 情緒の問題（中学生票 問 15、SA）

「情緒の問題」に関して、5つの項目の結果に足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど問題性が高い）。全体の平均値は3.56点となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」の世帯では3.51点、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では3.70点、「中央値の2分の1未満」の世帯では3.86点となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では3.58点、「ひとり親世帯」では3.84点、うち「母子世帯」のみでは3.80点となっている。

今回調査と内閣府調査の平均値を比較すると、今回調査が0.16ポイント高い。

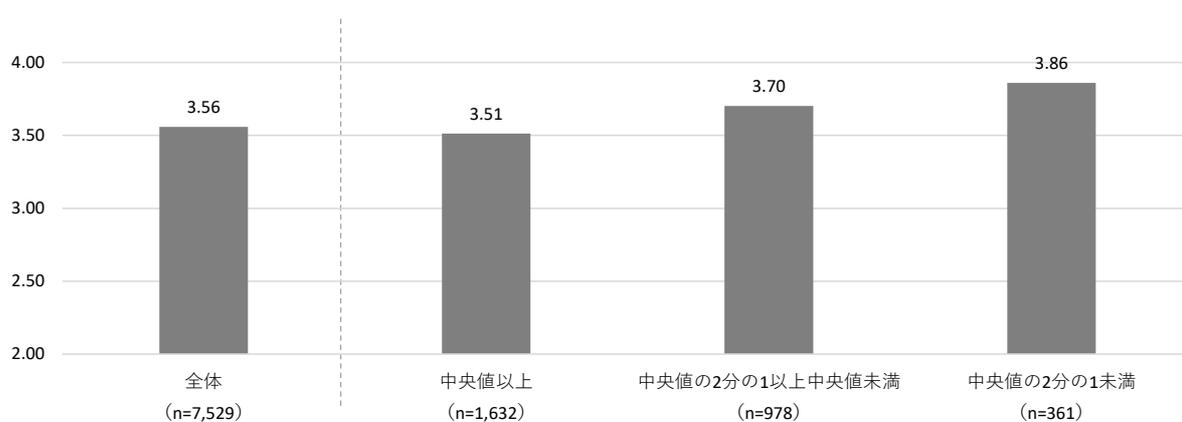


図 2-2-5-1 等価世帯収入の水準別、「情緒の問題」に関するスコアの平均値

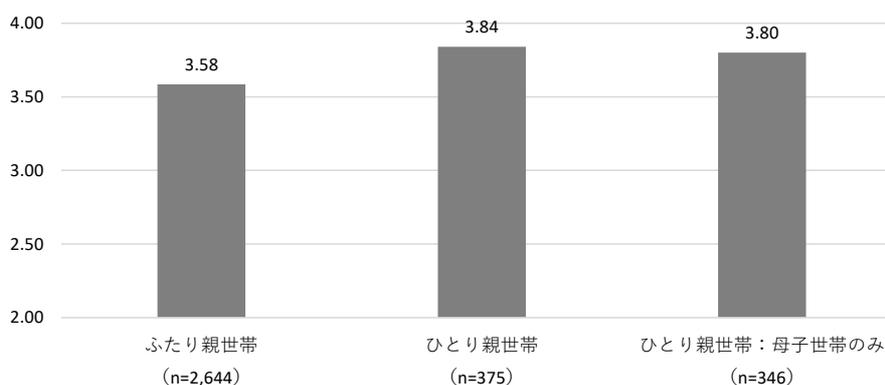


図 2-2-5-2 世帯の状況別、「情緒の問題」に関するスコアの平均値

比較表 2-2-5-1 情緒の問題⁵⁵

			サンプル数	平均	標準偏差
今回調査		全体	7,529	3.56	2.51
内閣府調査		全体	2,715	3.40	2.54
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,632	3.51	2.51
		中央値の2分の1以上中央値未満	978	3.70	2.53
		中央値の2分の1未満	361	3.86	2.56
	内閣府調査	中央値以上	1,309	3.23	2.47
		中央値の2分の1以上中央値未満	954	3.43	2.58
		中央値の2分の1未満	334	3.84	2.67
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,644	3.58	2.54
		ひとり親世帯	375	3.84	2.50
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	346	3.80	2.49
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,336	3.36	2.54
		ひとり親世帯	335	3.71	2.56
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	290	3.76	2.56

⁵⁵ 比較表で求めた「標準偏差」とは、データの特徴を示した数値のひとつであり、対象データが平均値からどれくらい散らばりがあるかが分かる。分散が小さいほど、データの数値が平均値中心に集まっており、分散が大きいほど数値が平均値から離れていることを意味する。

「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(2) 仲間関係の問題（中学生票 問 15、SA）

「仲間関係の問題」に関して、5つの項目の結果に足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど問題性が高い⁵⁶）。全体の平均値は2.19点となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」の世帯では2.13点、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では2.16点、「中央値の2分の1未満」の世帯では2.44点となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では2.15点、「ひとり親世帯」では2.37点、うち「母子世帯」のみでは2.35点となっている。

今回調査と内閣府調査の平均値を比較すると、今回調査が0.13ポイント高い。

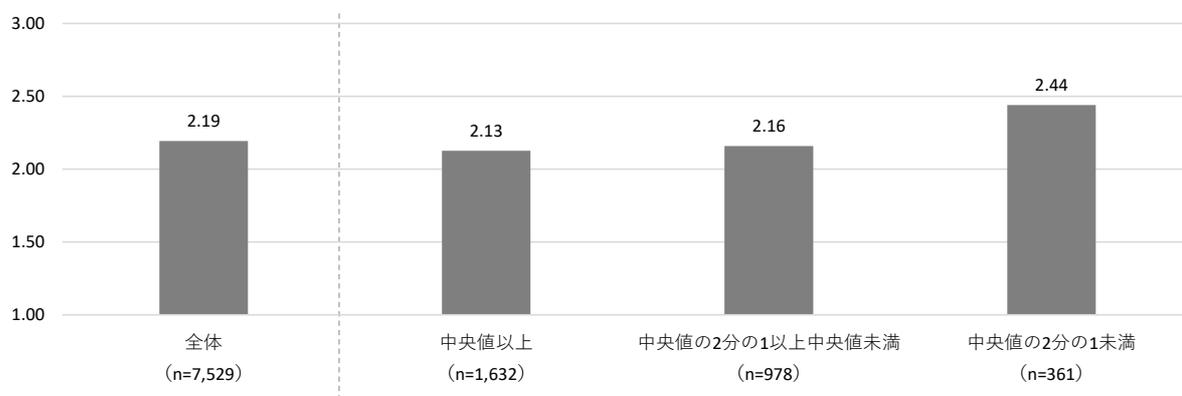


図 2-2-5-3 等価世帯収入の水準別、「仲間関係の問題」に関するスコアの平均値

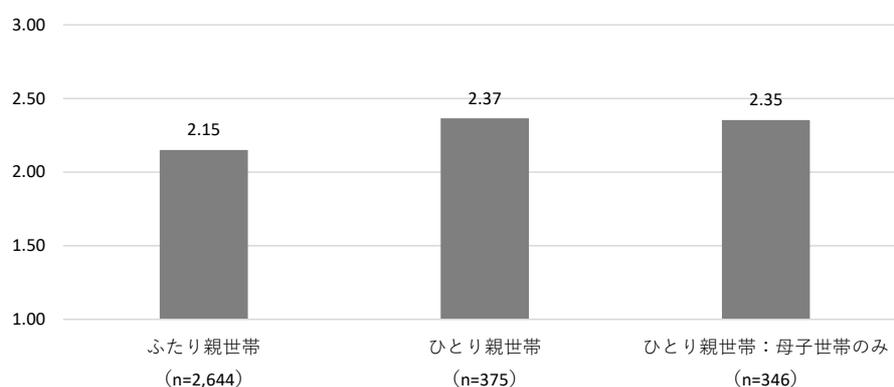


図 2-2-5-4 世帯の状況別、「仲間関係の問題」に関するスコアの平均値

⁵⁶ 「g）私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。」と「i）私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。」の項目は逆転項目としてスコアを算出している。

比較表 2-2-5-2 仲間関係の問題⁵⁷

			サンプル数	平均	標準偏差
今回調査		全体	7,529	2.19	1.52
内閣府調査		全体	2,715	2.06	1.70
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,632	2.13	1.53
		中央値の2分の1以上中央値未満	978	2.16	1.50
		中央値の2分の1未満	361	2.44	1.76
	内閣府調査	中央値以上	1,309	1.90	1.64
		中央値の2分の1以上中央値未満	954	2.15	1.73
		中央値の2分の1未満	335	2.38	1.82
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,644	2.15	1.54
		ひとり親世帯	375	2.37	1.63
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	346	2.35	1.62
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,335	2.04	1.71
		ひとり親世帯	335	2.17	1.66
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	289	2.17	1.64

⁵⁷ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(3) 向社会性（中学生票 問 15、SA）

「情緒の問題」に関して、5つの項目の結果に足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど社会性が高い）。全体の平均値は5.88点となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」の世帯では5.88点、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では5.90点、「中央値の2分の1未満」の世帯では5.90点となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では5.90点、「ひとり親世帯」では5.84点、うち「母子世帯」のみでは5.85点となっている。

今回調査と内閣府調査の平均値を比較すると、今回調査が0.17ポイント低い。

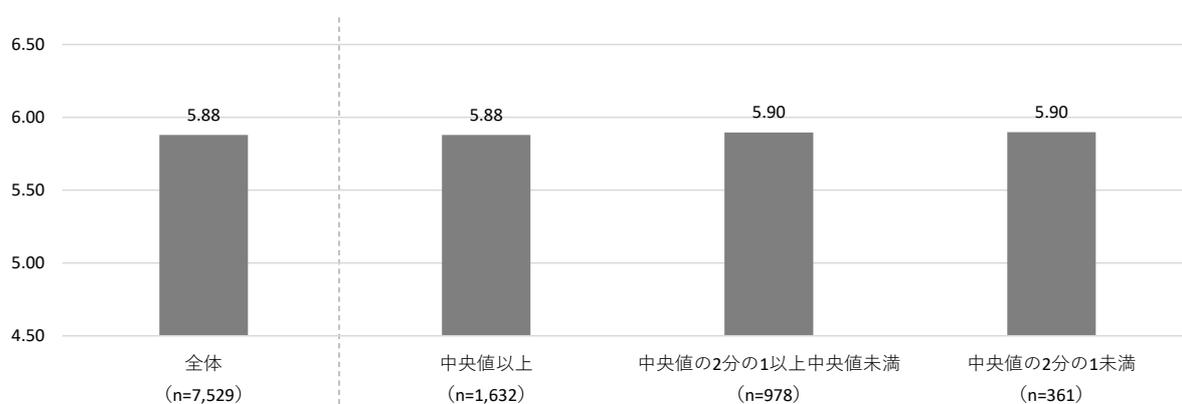


図 2-2-5-5 等価世帯収入の水準別、「向社会性」に関するスコアの平均値

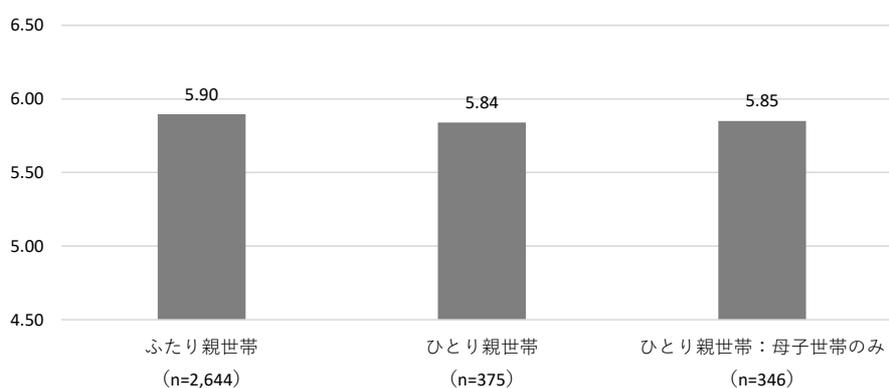


図 2-2-5-6 世帯の状況別、「向社会性」に関するスコアの平均値

比較表 2-2-5-3 向社会性⁵⁸

			サンプル数	平均	標準偏差
今回調査		全体	7,529	5.88	1.96
内閣府調査		全体	2,715	6.05	2.05
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,632	5.88	1.95
		中央値の2分の1以上中央値未満	978	5.90	1.96
		中央値の2分の1未満	361	5.90	1.98
	内閣府調査	中央値以上	1,304	6.08	2.02
		中央値の2分の1以上中央値未満	953	6.02	2.07
		中央値の2分の1未満	333	5.96	2.09
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,644	5.90	1.93
		ひとり親世帯	375	5.84	2.09
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	346	5.85	2.10
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,327	6.08	2.02
		ひとり親世帯	335	5.90	2.15
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	289	5.89	2.12

⁵⁸ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

2.2.6. 逆境体験

(1) 保護者の状況と逆境体験（中学生票 問 16、SA）

「逆境体験」について、8つの項目を基に状況把握を行った。調査した項目は以下のとおりとなっている。

- a. 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b. 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c. 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d. 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f. 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g. 一緒に住んでいる人にお酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h. 一緒に住んでいる人にお酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる

8項目のうち、「ひとつもあてはまらない(0個)」は71.3%、「1個あてはまる」は17.7%、「2個あてはまる」は5.1%、「3個あてはまる」は2.3%、「4個以上あてはまる」は1.7%となっている⁵⁹。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「ひとつもあてはまらない(0個)」が54.5%で、「中央値以上」の世帯(81.4%)と比べて26.9ポイント低く、一方で「1個あてはまる」が31.8%、「2個あてはまる」が9.2%と、それぞれ18.9ポイント、5.5ポイント高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「ひとつもあてはまらない(0個)」が28.2%で「ふたり親世帯」(82.0%)と比べて53.8ポイント低くなっている。一方で1個以上あてはまる割合が高くなっている。

⁵⁹ 調査票では、「0.ひとつもあてはまらない(0個)」から「8.すべてあてはまる(8個)」まで、該当個数にあわせた選択肢で回答を得たが、4個以上は該当する件数が少ないことも踏まえ、4個以上を合算して集計した。

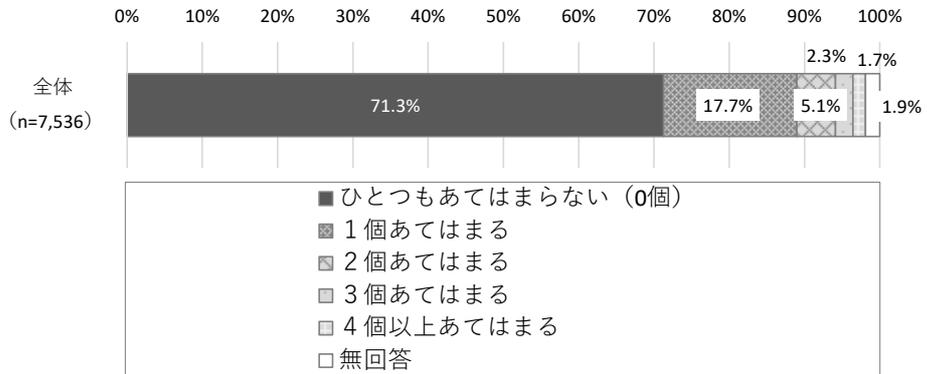


図 2-2-6-1 逆境体験

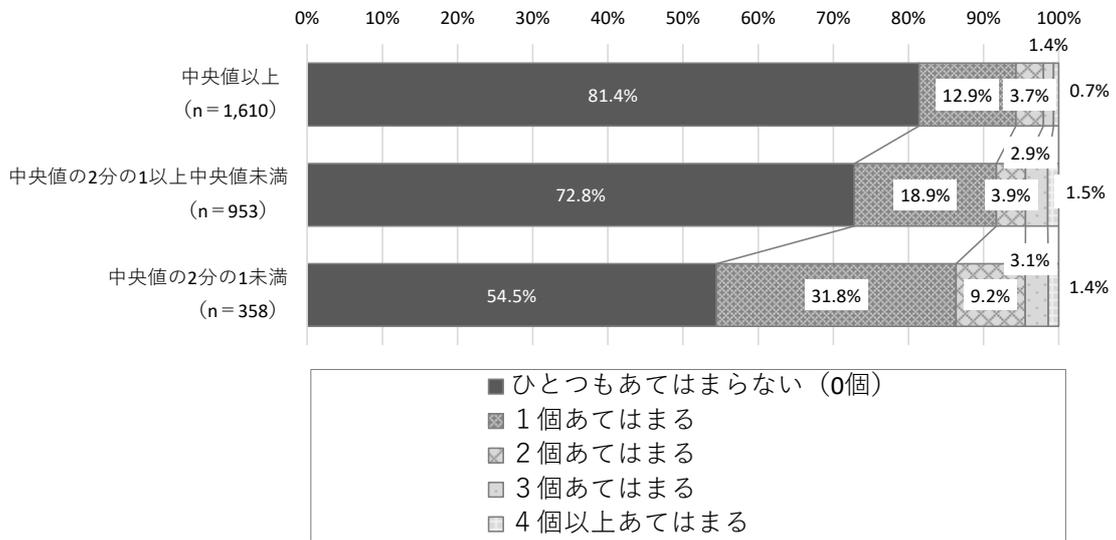


図 2-2-6-2 等価世帯収入の水準別、逆境体験

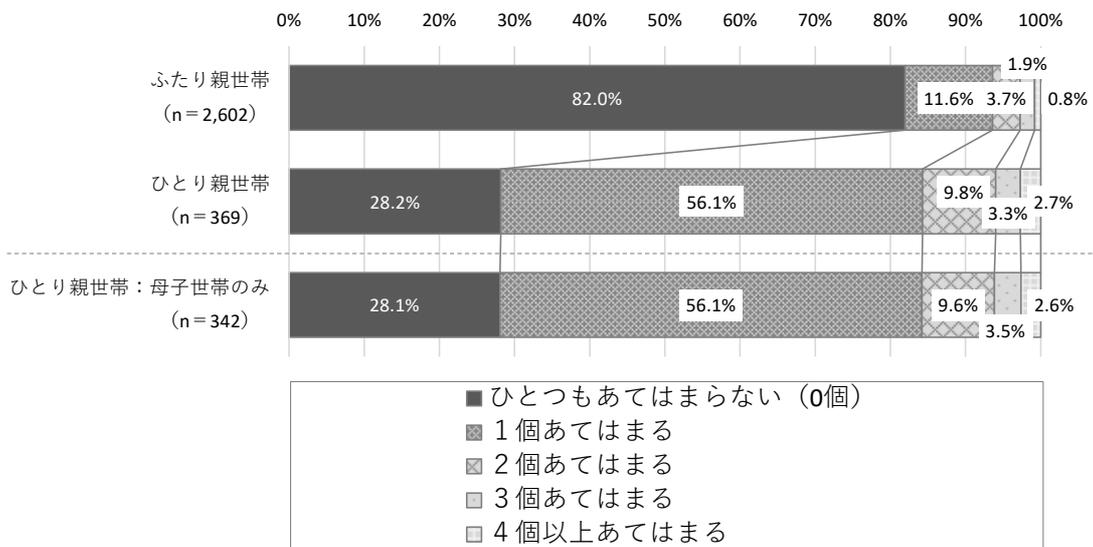


図 2-2-6-3 世帯の状況別、逆境体験

比較表 2-2-6-1 逆境体験⁶⁰

		サンプル数	ひとつもあてはまらない (0個)	1個あてはまる	2個あてはまる	3個あてはまる	4個あてはまる	5個あてはまる	6個あてはまる	7個あてはまる	すべてあてはまる(8個)	無回答	
上段：度数 下段：%													
今回調査	全体	7,536	5,370	1,337	385	175	75	28	10	6	7	143	
		100.0	71.3	17.7	5.1	2.3	1.0	0.4	0.1	0.1	0.1	1.9	
内閣府調査	全体	2,715	2,049	512		63		10			1	80	
		100.0	75.5	18.9		2.3		0.4			0.0	2.9	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,610	1,311	207	59	22	7	2	0	1	1	
		100.0	81.4	12.9	3.7	1.4	0.4	0.1	0.0	0.1	0.1		
		中央値の2分の1以上中央値未満	953	694	180	37	28	8	4	1	1	0	
		100.0	72.8	18.9	3.9	2.9	0.8	0.4	0.1	0.1	0.1	0.0	
		中央値の2分の1未満	358	195	114	33	11	4	0	1	0	0	
		100.0	54.5	31.8	9.2	3.1	1.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	
	内閣府調査	中央値以上	1,294	1,098	163		28		5			0	
		100.0	84.9	12.6		2.2		0.4			0.0		
		中央値の2分の1以上中央値未満	934	725	186		21		1			1	
		100.0	77.6	19.9		2.2		0.1			0.1		
		中央値の2分の1未満	319	160	143		12		4			0	
		100.0	50.2	44.8		3.8		1.3			0.0		
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,602	2,133	302	96	50	13	5	1	1	1	
		100.0	82.0	11.6	3.7	1.9	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
		ひとり親世帯	369	104	207	36	12	7	1	1	1	0	
		100.0	28.2	56.1	9.8	3.3	1.9	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	342	96	192	33	12	6	1	1	1	0	
		100.0	28.1	56.1	9.6	3.5	1.8	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,294	1,963	278		46		6			1	
		100.0	85.6	12.1		2.0		0.3			0.0		
		ひとり親世帯	324	80	223		17		4			0	
		100.0	24.7	68.8		5.2		1.2			0.0		
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	281	66	197		15		3			0	
		100.0	23.5	70.1		5.3		1.1			0.0		

⁶⁰ 「等価世帯収入の水準別」及び「世帯の状況別」のクロス集計については、保護者と紐付けが可能なサンプルにより集計した。

(2) 逆境体験と子どもの状況

内閣府調査と同様、逆境体験の経験の有無（「ひとつもあてはまらない（0個）」であるか、1個以上あてはまるか）により分類し、子どもの生活満足度の平均値を比較すると、逆境体験がない場合には、生活満足度の平均値は7.19、逆境体験がある場合には6.17となっている。

また、等価世帯収入の水準別、世帯の状況別で分類した上で、逆境体験の経験の有無別に子どもの生活満足度をみると、いずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなる傾向が見られる。

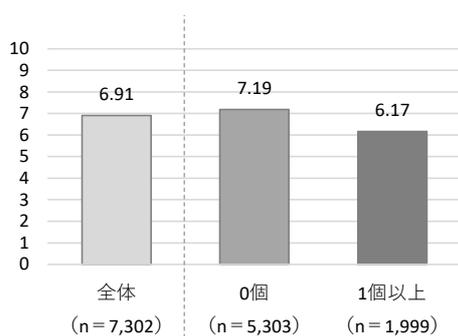


図 2-2-6-4 逆境体験の有無別、生活満足度

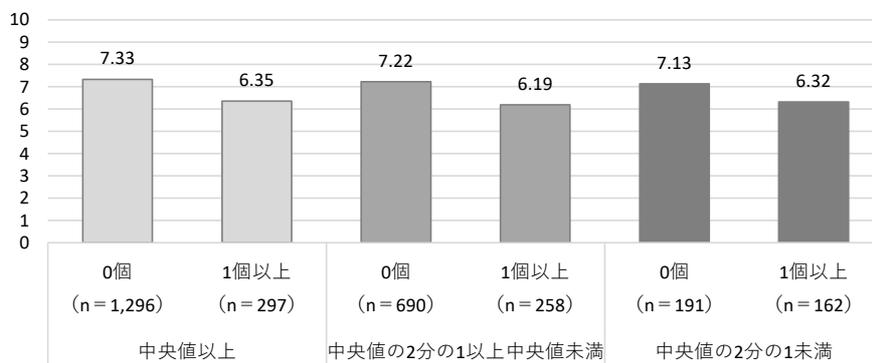


図 2-2-6-5 等価世帯収入の水準別、逆境体験の有無別、生活満足度

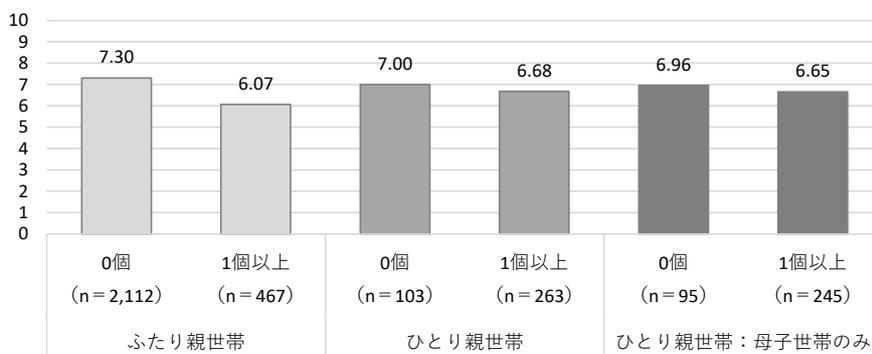


図 2-2-6-6 世帯の状況別、逆境体験の有無別、生活満足度